



多世代交流
イベント

子育て
サロン

地域たすけあい型
ボランティア

港北区

13 地区社協

活動事例集

介護予防
地区リハビリ

障がい児
余暇支援

見守り
ネットワーク

などなど...



わがまちの
ふつうのくらしのしあわせを かなえたい
地区社会福祉協議会のみなさんが
集めた**地域福祉**の事例集です



発行：横浜市港北区社会福祉協議会

はじめに・・・

地域福祉とは、「その地域に住む住民の誰もがその人らしく暮らしていける地域づくり」を住民みんなで目指していこうとするものです。

社会福祉協議会、(通称 ^{しゃきょう}社協)は、社会福祉法で「地域福祉を推進する民間の団体である」と明記され、地区・市区町村・政令指定都市・都道府県・全国と、その単位ごとに地域福祉に取り組んでいます。先の3.11東日本大震災では、被災地ボランティアセンター運営(ボランティアや救援物資の調整)などでも活躍しました。



今回**港北区社協**は、区内で連合町内会ごとに組織された

13 地区社協のみなさんと地域福祉活動の事例を集め、

この「**地区社協活動事例集**」をつくりました。

たすけあう・行き場やよりどころがある・交流できるといった、

誰もが思う「**あったらいいな**」の**実践事例**がつまっています。

掲載は多くの活動の一部で、順次増やしていく予定です。

参加したい方、似た活動で参考にしたい方、わがまちの地区社協や地域福祉活動を知りたい方…さまざまな場面でご活用ください。

ページの構成 …事例は全て **1枚1事例**、**共通項目**で記載しています。



地区名	
分野	活動種別
事業名	
活動内容	
○ 対象	
定例日時	
会場	
参加費	
○ 財源	
保険	
広報周知	
申込・問い合わせ	

オモテ面では、

活動の概要をまとめ、様子を写真で紹介しています。

Point 13地区別で色分けしています。

地元の活動や、子育てなど対象の分野に

注目して読んでみてください。

ここが特に良い!ポイント

A	B	C	D
E	F	G	H



はじめたきっかけと準備

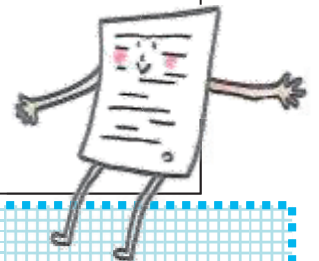
関わっている人たち

活動をすすめる工夫

声を聞く工夫

地区社協との関係

これからのむけて



ウラ面には、

はじめた**きっかけ**から**工夫**まで、

たすさわっているみなさんの

想いやノウハウを紹介しています

Point 「ここが特に良い!ポイント」に

注目して読んでみてください。

目次・全体の構成について

* **目次**は、**分野別**と**地区別**の2種類あります

目次① 分野別事例一覧

目次② 地区別事例一覧

* **ページ番号**は**分野とNo.**の組み合わせです…例 **障がい-1**

* **事例**は、**6分野**の対象者別になっています

分野別事例一覧をご参照ください

障がい **子ども** **高齢** **高齢・障がい**
高齢・子ども **限定なし**

* **地区毎**のページは、「**地区社協**」の**各ページ**にまとめています

* **地区名と縁の色**は、**13地区毎**で変えてあります

* **プライバシー情報**にご配慮ください

参加したい方、活動したい方、参考にしたい方につなげるための情報ですので、本来目的にそぐわぬ使用方法とならぬようご配慮ください

港北区13地区社協活動事例集

平成25年3月 第1版発行

平成26年3月 事例追加

平成27年1月 WEB版事例追加

平成27年3月 WEB版事例追加

発行：横浜市港北区社会福祉協議会

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町13-1

吉田ビル206

TEL. 045(547)2324 FAX. 045(531)9561

Eメール. hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp

分野	No.	地区	活動種別	事業名	発行
障がい	1	日吉	余暇支援	障がい児のよりどころ	H25.3
	2	樽	余暇支援	放課後サークル「たるとも」	H25.3
	3	城郷	サロン	しろさと地区放課後プラザ	H25.3
	4	城郷	サロン	ひなたぼっこ	H25.3
	5	日吉	障がい施設との交流	活動ホームしもだ 地域交流バザー	H25.3
	6	菊名	障がい団体との交流	中途障がい者団体「いずみ会」	H25.3
	7	菊名	障がい団体との交流	地域作業所いろえんぴつとの活動	H25.3
	8	高田	余暇支援	たかたべり～ず	H26.3
	9	篠原	余暇支援	とも・とも篠原	H27.3
	10	篠原	独自の取り組み	コーヒーフレンドしのはら	H27.3
子ども	1	樽	サロン	ちびたる	H25.3
	2	新羽	サロン	たんぽぽにっぱ	H25.3
	3	新吉田	サロン	新吉田地区子育てサロン「よしだっこ」	H25.3
	4	高田	サロン	高田地区子育て支援事業 親子の広場「たかたっ子育て」	H25.3
	5	日吉	独自の取り組み	日吉地区子育て応援ボランティアネットワーク ポコ・ア・ポコ	H25.3
	6	日吉	独自の取り組み	パパの教室	H26.3
	7	大曽根	サロン	おおそねちびサロン	H26.3
	8	大倉山(太尾)	サロン	太尾っ子広場	H26.3
	9	あすなろ	サロン	子育てサロン “このゆびと～まれ！”	H26.3
	10	あすなろ	見守りネットワーク	登下校時学童見守り活動	H26.3
	11	篠原	サロン	しのはランド	H27.3
	12	篠原	サロン	子育てサロン「らっこ」	H27.3
高齢	1	大倉山(太尾)	地域たすけあい型ボランティア	太尾ふれあいクラブ	H25.3
	2	樽	配食活動/会食会	わかば会	H25.3
	3	城郷	配食活動/会食会	グループひまわり（ふれあい昼食会）	H25.3
	4	城郷	配食活動/会食会	「ダン・ラン」調理ボランティア	H25.3
	5	大曽根	配食活動/会食会	大曽根やすらぎ昼食会	H25.3
	6	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「いこいの集い」	H25.3
	7	師岡	地区リハビリ	師岡「いきいき体操」	H25.3
	8	新羽	地区リハビリ	パワーアップにっぱ	H25.3
	9	城郷	サロン	城郷よってこ会	H25.3
	10	城郷	サロン	城郷ひろば	H25.3
	11	高田	サロン	生きいきサロン（ふくしの和・高田）	H25.3
	12	綱島	見守りネットワーク	要介護者向け「防災支え合いカード」	H25.3
	13	大曽根	見守りネットワーク	ささえあいネットワークの会	H25.3
	14	菊名	見守りネットワーク	高齢者110番	H25.3

港北区13地区社協活動事例集 分野別事例一覧

平成27年3月現在

分野	No.	地区	活動種別	事業名	発行	
高齢	15	あすなろ	見守りネットワーク	あすなろさがしてネット	H25.3	
	16	篠原	ボランティア連絡会	篠原福祉ネットワーク委員会	H25.3	
	17	日吉	見守りネットワーク	箕輪地区地域ケア連絡会	H26.3	
	18	日吉	サロン	なごみの会～認知症・転倒骨折予防教室～	H26.3	
	19	大曽根	配食活動	よつ葉会	H26.3	
	20	大曽根	サロン	木曜サロン	H26.3	
	21	大曽根	サロン	折り紙教室	H26.3	
	22	大曽根	生きがいづくり	大曽根歩こう会	H26.3	
	23	大倉山(太尾)	会食会	お茶とお話しの会	H26.3	
	24	大倉山(太尾)	サロン	太尾フレンドサロン・いこい	H26.3	
	25	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「いこいの会」	H26.3	
	26	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「お茶の間」	H26.3	
	27	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「なごみ会」	H26.3	
	28	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス 菊名南「ひな菊」	H26.3	
	29	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「みちくさの会」	H26.3	
	30	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「西町のつどい」	H26.3	
	31	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「夢クラブ」	H26.3	
	32	あすなろ	地区リハビリ・サロン	楽しいシルバー健康体操・サロン	H26.3	
	33	あすなろ	サロン	ふらっとサロン(元気づくりステーション)	H26.3	
	34	高田	見守りネットワーク	高齢者支援事業	H26.3	
	35	篠原	ミニデイ	ミニデイサービス「みどりの会」	H27.3	
	36	篠原	会食会	ひとり暮らし高齢者昼食会	H27.3	
	37	篠原	サロン	しのはら人生一服亭	H27.3	
	高齢・子ども	1	師岡	サロン	師岡ひまわり	H25.3
		2	日吉	サロン	サロン日吉「なかよし」	H26.3
	高齢・障がい	1	大倉山(太尾)	地区リハビリ	ボランティア部会	H26.3
	限定なし	1	城郷	地域たすけあい型ボランティア	城郷ふれあいの会	H25.3
		2	新羽	地域たすけあい型ボランティア	竹の子につば	H25.3
		3	新吉田	地域たすけあい型ボランティア	ボランティア活動グループほっと新吉田	H25.3
		4	日吉	独自の取り組み	光と活力 福祉実践活動発表会	H25.3
		5	高田	独自の取り組み	岩手県陸前高田市おやこの広場 「きらりんぎっず」との交流	H25.3
		6	新吉田	ボランティアセンター	地区ボランティアセンター「やすらぎの家」	H25.3
		7	綱島	独自の取り組み	地区社協活動拠点(福祉相談)の運営	H26.3
		8	大曽根	サロン	棋楽会	H26.3
		9	大曽根	会食会	大曽根男の料理教室	H26.3
		10	大倉山(太尾)	みんなの居場所	太尾地区みんなの居場所運営事業	H26.3

港北区13地区社協活動事例集 分野別事例一覧

平成27年3月現在

分野	No.	地区	活動種別	事業名	発行
限定なし	11	大倉山(太尾)	地域交流イベント	太尾地区支えあい祭り	H26.3
	12	大倉山(太尾)	施設との交流/地域交流イベント	地元を知ろう！太尾健康ウォーキング	H26.3
	13	あすなろ	地域交流・異世代交流	ふれあい運動会	H26.3
	14	あすなろ	地域交流・異世代交流	総合防災訓練（新田中学校地域防災拠点運営委員会）	H26.3
	15	あすなろ	地域交流・異世代交流	納涼福祉盆踊り大会	H26.3
	16	高田	広報	広報たかた翔・ホームページ	H26.3
	17	高田	みんなの居場所	ふらっと高田	H26.3
	18	高田	地域交流イベント	ウォーキング(歴史散歩)	H26.3
	19	篠原	地域たすけあい型ボランティア	しのはら相談室	H27.3
	20	篠原	情報・啓発	しのはら・ホームページ「わがまち篠原」	H27.3

合計 82 件

分野：障がい 活動種別：余暇支援

事業名：「障がい児のよりどころ」

活動内容

障がいのある中学生・高校生が家庭や学校以外でホッとできる居場所です。支援者の方々とトランプやボードゲーム、絵を描いたりなどして過ごしています。8月はスイカ割り、10月はハロウィンパーティー、12月はクリスマス会など、季節に合わせたイベントもしています。

対象 日吉本町に在住の障がいのある中学生、高校生

定例日時 毎月第3土曜日 13時30分～15時30分

会場 コンフォール南日吉 集会所 (日吉駅よりバス10分または日吉本町駅徒歩10分)

参加費 月100円(参加月のみ) 行事により実費をいただきます

財源 1年目日吉本町地区地域ケア連絡会より助成
2年目コンフォール南日吉自治会より助成

保険 子どもたちは傷害保険加入

広報周知 年1回、年度末にチラシ回覧で参加者・支援者を募っています



申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

障がいのある子どもたちは友達と遊ぶことが難しく、余暇の時間は家でゲームをしたり、DVDなどを観て過ごすことが多く、人と関わることができる場、家庭や学校以外でホッとできる居場所をつくりたいという思い、また、3.11東日本大震災をきっかけに地域とつながることの大切さを改めて感じ、子どもたちのことを知っていただく場でもあり、当事者とその親が地域の方々と関係性を深められる場になってほしいとひっとプラン日吉本町地区の活動として始めました。平成23年にチラシを回覧し参加者、支援者を募りました。

関わっている人たち

日吉本町地区地域ケア連絡会（ボランティア会のやまびこの会、民生委員児童委員）
障がい者地域活動ホームしもだ、日吉本町ケアプラザ、下田ケアプラザ、
地域の有志、保護者（順不同）

活動をすすめる工夫

大まかな障がいの特徴や関わり方のポイントなどをまとめたプロフィールを初めての方には読んでいただいています。親子参加の形をとることで、気になる点は親に直接聞いていただけるようにし、支援者の負担を減らしています。直に子どもたちと接してもらうことで伝わるがあると、様子を見ていて感じます。

子ども達の混乱を防ぐため参加者は登録制とし、1年間同じメンバーで過ごしています。また普段は子ども達それぞれのペースで過ごしていますが、クリスマス会などは全員で参加できる遊びをしています。

声を聞く工夫 つながりを地域の方とつくるため、地域ケア連絡会や光と活力活動発表会で報告しています。

地区社協との関係 ひっとプラン日吉本町地区の活動の一つです。

これからに向けて 活動の様子、子どもたちの様子を広報紙などで伝えていくこと、支援者との意見交換を実施し、障がいへの理解につながっているかなど率直な声を聞いていきたく、また単独ではなかなか参加しづらい防災訓練などにグループで参加していきたいと考えています。

地区名 **樽**

分野：障がい 活動種別：余暇支援

事業名：放課後サークル **たるとも**

活動内容

特別支援学級へ通う児童に対する余暇支援事業。

いろいろな遊びやものづくりを通し、子ども達はもとより、親同士、加えて地域より募ったボランティアが一体となってそれぞれに顔の見える心のつながる関係を構築し、地域の中で安心した生活が送れるよう支援しています。

対象 樽町在住の小学校個別支援学級に通う児童
(ご家族で会場までの送り迎えができる方)

定例日時 毎月第2火曜日 15時30分～

会場 樽町地域ケアプラザ

参加費 お一人200円(おやつ代として)

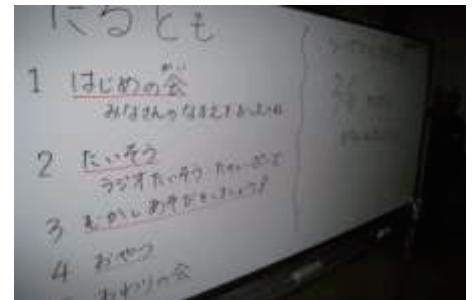
財源 地区社協より助成、参加費

保険 ボランティア行事用保険

広報周知 チラシ(掲示)
学校(特別支援学級)へ参加者募集依頼

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

障がい児の父母から「居場所づくり」の要望があり、地区社協でも日頃の子育て支援活動を通して、障がいのあるお子さんとそのご家族に地域での孤立傾向があると感じていたことから、平成22年9月より開設準備が進められました。平成23年1～3月のプレ活動期間を経て平成23年4月より正式に活動がスタートしました。

準備として、事業に関わる者が勉強会や各種研修会を受講するとともに先駆的に取り組んでいる近隣他地区に同様の事業の視察を行いました。

関わっている人たち

地区民生委員児童委員、主任児童委員、地区社協、地域ケアプラザ地域交流担当、区自立支援協議会地区担当、養護学校教員

活動をすすめる工夫

メンバーに事前受入資料として個別に聞き取りシートを配布し、支援者間の情報共有をはかっています。

声を聞く工夫 毎回の定例会の中でおやつを食べながら参加者の保護者と運営者が気軽にお話しができる雰囲気をつくっています。

地区社協との関係

予算計画や決算報告の行き来があります。

これからにおいて 課題である事業運営スタッフの確保・拡充を図り、通年的な研修等を実施します。

地区名 城 郷

分野：障がい 活動種別：サロン

事業名：しろさと地区放課後プラザ

活動内容

発達障がいのある子どもやその保護者同士の居場所交流の場作りとして、月1回開催しています。地域ボランティアの皆さんと触れあいながら、社会体験や創作活動で遊びます。ハロウィン・カルタ遊び・ひな祭り飾りなど季節に合わせたプログラムを企画し、参加児童が楽しめるよう工夫しています。



対 象 城郷地区在住・在学の支援の必要な小中学生と保護者の方

定例日時 第3水曜日 15時30分～17時

会 場 城郷小机地域ケアプラザ

参加費 300円/回（保険料含む）

財 源 地区社協から7万円、自主財源1万

保 険 行事用保険に加入(民間の保険会社)

広報周知 周知ポスターを掲示、チラシ回覧

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域ケアプラザで実施されていた障がい児余暇支援事業のアンケートで定期的な事業実施を期待する声が挙がっていました。地区社協主催で、ボランティア募集を兼ねた講演会を2回、ボランティア交流会を2回実施しました。その後プレ開催を行い、活動の流れをボランティアで確認したあと、本格実施（月1回開催）を行いました。

関わっている人たち

ボランティア、主任児童委員、港北区自立支援協議会、城郷小机地域ケアプラザ、近隣の小中学校、地区社協など

活動をすすめる工夫

専門家の助言をもらえるように港北区自立支援協議会と楠の木学園に協力してもらったことや、地区内の小中学校校長や個別支援級に通っている児童の保護者と意見交換を行い、活動の周知等協力体制を確立しました。また、対象児童への周知については定員に達するまで、学校の協力を得て、毎月活動の様子を報告しました。現在では定期的に報告しています。

声を聞く工夫

毎回その日の様子などを帰り際に報告したり、年2回保護者会を開いて、話す機会を作っています。

地区社協との関係

地区社協事業として資金や広報の支援があります。

これからのむけて

立ち上げ準備から3年…地域ボランティアだけで子ども達を受入れ、企画運営を行うまでになりました。継続的な勉強会(研修会)を通してボランティアのスキルアップを目指すとともに、参加者保護者のご意見や地域ニーズに耳を傾けつつ事業拡大・開催頻度の方向性について検討していきたいと考えています。

地区名 城 郷

分野：障がい 活動種別：サロン

事業名：ひなたぼっこ

活動内容

心を病む方やそのご家族の方などが同じような思いを気楽に話したり、安らげるサロンで毎月色々なイベントを行っております。

例：近隣散策、茶話会、カラオケ、ピンポン、バドミントン、ミニボーリング、輪投げ、琴演奏会、クラシック演奏会、紙切り等

対 象 横浜市内にお住まいの心を病む方やそのご家族

定例日時 毎月第2月曜日13時30分～15時30分

会 場 城郷小机地域ケアプラザ

参加費 100円/回(お茶とお菓子代)

財 源 会費・参加費 3万、みんなの助成金 7万

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 チラシを活用(掲示版・町内回覧版)

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成19年9月に横浜市港北区福祉保健センター主催で、地域ケアプラザにて開催された精神保健福祉ミニ講座に参加した受講生の有志が、地域ケアプラザの声かけで継続的に集まりを持ち、平成20年4月より地域ケアプラザに協力する形で活動を始めました。平成21年4月からは、ボランティア主体で、近隣地域に居住する心を病む方やそのご家族の方が安らげる場所を作りたいとの思いで活動をしています。参加者募集は、チラシを作り、地域ケアプラザや区役所へ配布、当事者団体や他地区で同様の活動をしている団体に協力してもらい広報を行いました。

関わっている人たち

ボランティア、地域ケアプラザ

活動をすすめる工夫

ボランティアは、お話を聞くだけ、解決しようとしないことを心がけています。参加者全員、皆楽しく気楽におしゃべりやイベントへ参加、参加をされたくない方には、その時の気持ちを大事に、居心地のよいひとときを過ごされるように配慮しています。日により症状に波があるため、個々の参加者の様子を見て対応をしています。精神保健の勉強会などを行っている「あみねっと」と連携協力しています。勉強会への参加やボランティア講座に協力することで、受講生がひなたぼっこのボランティアとして活動してくれることもあります。

声を聞く工夫

個々に問題を抱えている方のお話をゆっくり聞き、こころの重荷を少しでも降ろせる場所となるようにご意見を伺います。

地区社協との関係

城郷地区ボランティア連絡会に加盟しています。

これからに向けて

色々なイベントを行いながら、楽しい時を過ごす中で如何に問題を抱えている方に寄り添っていけるか少しでも癒しを得て頂けるかを学んで行きたいと思っています。

地区名 日吉

分野：障がい 活動種別：障がい施設との交流

事業名：活動ホームしもだ 地域交流バザー

活動内容

「活動ホームしもだ」は、障がい者の日中の活動を中心に、障がい児・障がい者への生活支援や活動の応援、そして地域交流事業を行っています。

地域交流事業のひとつである5月の「地域交流バザー」は、地域交流と運営費の調達を目的として開催し、すでに24回を重ねました。

内容は ○寄贈品の販売…繊維製品、雑貨、食料品、書籍、野菜、花、委託品など
○軽食…焼き鳥、焼きそば、フランクフルト、ポップコーン、綿菓子、ジュース
○ポップランド…ゲーム等こどもの広場
○福祉コーナー…交流福祉団体、コスモス工房等の出店 等です。

また、10月の秋まつりでは、お子さんを対象にひとみ座の人形劇の上演を中心に、近隣の方に楽しんでいただける企画をしています。

対象 市民どなたでも（居住地区問わず）
定例日時 例年5月第3日曜10時～14時に開催
会場 活動ホームしもだ および 下田町西公園
参加費 無料で参加できます
財源 日吉地区社協助成金（年末募金施設配分）
活動ホームしもだ地域交流費

保険 ボランティア行事用保険に加入

広報周知 チラシを日吉地区・高田地区町内会で回覧
ポスターを各町内会掲示板に掲示
活動ホームしもだホームページ（http://www.geocities.jp/kh_simoda/）
下田町ホームページ（<http://home.r04.itscom.net/shimoda/>）に掲載

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

「活動ホームしもだ」は、昭和63年9月に障がいある方や家族の活動の拠点として誕生し、しもだバザーは開設1年目より地域交流と運営資金の調達のために日吉地区と高田地区の方々のご協力を得て始めました。例年5月第3日曜日に開催です。

関わっている人たち バザー実行委員会を開催し準備を進めています。

参加者数(平成24年)＝事前準備:延べ161名(支援者:73名)、当日は457名(支援者:297名)

参加団体(順不同) 日吉地区社会福祉協議会、日吉地区連合町内会、高田地区連合町内会、日吉5地区民生児童委員協議会、高田地区民生児童委員協議会、日吉地区社協ボランティア部会、港北区ボランティア連絡会、日吉地区スポーツ推進委員連絡協議会、日吉地区青少年指導協議会、下田商店連合会、交通安全協会日吉支部、地元学校PTA、横浜ボーイスカウト69団、横浜ひかりライオンズクラブ、横浜日吉ロータークラブ、区内地域作業所・グループホーム、活動ホームしもだ家族会&利用者、活動ホームしもだ利用団体

活動をすすめる工夫

準備は3月のバザー実行委員会から始まります。各団体で値付け等の準備、そして当日の会場設営、警備、販売等の役割を分担していただいています。大勢の方にご協力いただいていますので、スムーズな準備と当日の成功のために、実行委員会での検討と確認を重ね、さらに各団体の責任者の方々との連絡を密にして、当日を迎えるようにしています。

また、町内会の回覧、掲示板、ホームページに「寄贈品の回収」「バザーのお知らせ」を掲載していただき広報活動にもご協力いただいています。

声を聞く工夫 終了後にお手伝いの皆様にアンケートを提出いただいています。さらに振り返りの実行委員会にて各団体からご意見を伺っています。

地区社協との関係 助成金の配分、バザー実行委員会への参加、準備から当日の様々な支援をいただいています。また決算報告もしています。

これからに向けて 障がい児・障がい者の方々や家族が、住み慣れた街で生き生きと暮らしていくために、これからも「しもだバザー」、「秋まつり」をはじめとした地域交流事業を大切にしていきたいと思っています。また、日頃より「毎日が地域交流」をモットーに積み重ねてきた街へ出かける活動と共に、誰でも立ち寄りやすい場所作りを進めていきたいと思っています。

地区名 菊 名

分野：障がい 活動種別：障がい団体との交流

事業名： 中途障がい者団体 **いずみ会**

活動内容

脳血管疾患などで中途障がい者となった当事者が、家族やボランティアとともに、リハビリや地域との交流を深めることを目的に、季節行事や小学校行事に参加しています。特に小学生児童たちとの交流では、児童たちが障がい者に対しての「優しさ」「思いやり」の心が育てられることも目指しています。



対 象 菊名、大豆戸、大倉山、新横浜ほか
近隣在住の中途脳血管障がいのある方

定例日時 毎月第1木曜日 13時30分～15時（定例会）
大豆戸小学校2・3年生との年2回の交流会も続けています

会 場 大豆戸小学校 1階ホール
（大倉山駅・新横浜駅徒歩15分※バス便あり）

参加費 年間2,000円 ほかボランティア1,000円
（行事参加費はその都度集めます）

財 源 地区社協（2万）（年末募金配分）
港北みんなの助成金（7万）参加者会費 他

保 険 ボランティア活動保険・行事用保険

広報周知 チラシをケアプラザ等に置くほか、
街で出会った方に声かけして
お誘いしています

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会
（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成3年頃、当時の保健師さんたちが中心となり、引きこもりがちな難病や中途障がい者（主に、脳血管疾患などによる後遺症のある方）に外出してもらおうと、ボランティアと一緒にスタートしました。当初は当事者20数名・ボランティア15～6名・送迎ボランティア3名で始めました。

関わっている人たち

当事者9名に対し、ボランティア11名が関わっています。
家族やボランティアを中心に看護師やホームヘルパー資格ある方もいます。

活動をすすめる工夫

- ・ 同じ病気でも、障がいは個人個人異なることを心がけて関わっています。
- ・ 活動を負担にせず“一緒に楽しむ”が合言葉です。
- ・ バスハイクなどの外出には必ず下見をして打ち合わせています。
- ・ 活動の拠点の大豆戸小学校の行事にしっかり根付き、小学2年生と一緒に給食を食べ、3年生に進級後は学習発表会で交流するなど関わりは複数年で、永く続いています。このときに「説明カード」を携え、話すこと自体が得意でない会員も参加しやすくし、先生の提案で2年生向きには“ふつうのひと”として接するよう好きなものや特技を、3年生では障がいや病気の説明を載せて、複数年の関わりだからできる学びを促しています。
- ・ 送迎はご家族がしたり、お迎えに行ったり、自力で歩いてくる方など、状況に合わせて融通をきかせています。

声を聞く工夫 毎回近況を直接聞いています。「みんなでつくる食事が楽しい」との声にはケーキのデコレーションを楽しみながら食べるなど実現するようにしています。

地区社協との関係 年末募金配分で資金助成されています。

これからおいて 20年近い活動でボランティアも会員も高齢となり、新しい方が入らないのが悩みですが、卒業した児童が街中で声をかけてくれることもあり、地元の障がい分野として引き続き根付いていきたいと思えます。

地区名 菊 名

分野：障がい 活動種別：障がい団体との交流

事業名：地域作業所いろえんぴつとの活動

活動内容

地域作業所いろえんぴつは、障がいのある人が地域の中で、社会人として自立した活動を行う場として、障がいの種別を問わず色々な力をもっている人が集まって情報誌の配布、アルミ缶回収、オリジナル味噌やクッキー、パンの製造販売、寄付された物品の販売等の活動をしています。

菊名地区では、地区にある障がい者の拠点として地域との交流・連携が進むよう、防災訓練やゴミ出し、作業所の販売活動の充実などを支援しています。

具体例として、

- (1) 町内会の地域防災訓練への参加(地域との交流)
- (2) 共同で物づくり(廃油せっけん・オレンジピールなど工賃の安定)
- (3) ごみ収集のサポート(日常的な連携)
- (4) グランドゴルフ(健康増進の活動)の支援 などしています

対 象 いろえんぴつ3か所の所員（利用者）

- 地域活動支援センターいろえんぴつ(菊名駅徒歩10分)
- 分室えんや(菊名駅徒歩5分)
- 地域活動支援センターいろえんぴつ大倉山
(大倉山駅徒歩2分 第二サンセイビル2F)
- 地域活動支援センターいろえんぴつ大倉山駅前
(大倉山駅徒歩2分 ポルターゼビル 3F)



財 源 地区社協から1万円（年末配分） その他 法人予算より

保 険 ボランティア活動保険・行事用保険

広報周知 特になし

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会
(TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成12年4月、地域作業所いろえんぴつが設立され、町会長、地区担当民生委員が運営委員会に入りました。その民生委員が退任後も地域とのパイプ役です。当初はボランティアが集まらず、遠くから経験者が来て手伝ってくれたりもしていましたが、活動ごとに有志が集まっています。

関わっている人たち

ボランティアグループ「どんぐりGGの会」、民生委員、家庭防災員、近隣の住民の方、グループホームさくらロードなど場面によってさまざまです。

活動をすすめる工夫

防災訓練では、作業所が訓練の日を作業日に変更して参加できるようにしましたし、家庭防災員が三角巾の使い方を所員と職員向けに実習するなどしています。ゴミ収集は作業所の開所時間より早いことや閉所日にもあるため、日常的な支援として近くに住む2～3の方が朝7時30分から協力しています。もちろん分別やヒモがけは所員がしてあります。

ボランティアの方の庭になった柑橘類から砂糖漬けを製作したり、健康増進にグランドゴルフの会を定期的で開催するなど、参加を通じての絆や連携ができるよう、積極的に運営に関わっています。

声を聞く工夫 運営委員会で地域と作業所側の考えをすり合わせています。

地区社協との関係 年末たすけあい募金施設配分のほか、運営委員に地区社協役員や民生委員などがなることでパイプ役となっています。また行事類のほか、会議での茶菓類などの販路にも協力しています。

これからにおいて 作業所では作業の受注や販路の確保が欠かせません。障がい当事者が当たり前で地域で生活する大切な場である作業所が、地域で安定して運営できるよう、人のつながりとアイデアを大切にしていきます。

地区名 **高 田**

分野：障がい 活動種別：余暇支援

事業名：たかたべり〜ず

活動内容

個別支援級在籍の小学生を対象に実施している余暇支援活動です。
ケアプラザを使用しての室内レクリエーションや外出を地域ボランティア、民生委員、
ケアプラザと共に実施しています。

対 象 個別支援級在籍の小学生

定例日時 6月～3月の偶数月 10時～14時（例外もあり）

※3月のみ第4土曜日に実施

会 場 高田地域ケアプラザ
(高田西 2-14-6)

参加費 実費負担

財 源 賛助会費

保 険 横浜市市民活動保険

広報周知 チラシ（配布・回覧・掲示）

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

高田地域ケアプラザで始まった余暇支援へ協力したことをきっかけに共催となりました。事前に発達障がいに関する研修を行い準備しました。

関わっている人たち

地域ボランティア、民生委員、高田ケアプラザ

活動をすすめる工夫

参加者への周知は回覧だけではなく高田地区の小学校へ事業説明を兼ねて持参しています。また、参加定員を増やせるよう様々な場でボランティアへの呼びかけを行っています。

声を聞く工夫

参加児童保護者からはプログラム開催時にご意見を伺っています。ボランティアからも反省会などで意見交換を行っています。

地区社協との関係

スタッフの派遣の他、賛助会費からの助成金を受けていて事業報告や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

無理なく地域で支える場や環境作りを行っていきます。また、本事業での関わりを活かし、地域各団体と連携し支援の視点を防災へも広げられたらと考えています。

分野：障がい 活動種別：余暇支援

事業名：「とも・とも篠原」

活動内容

障がい児の放課後の居場所づくりを支援するために、篠原地区に在住の個別支援級に通う小5～中3の参加者と放課後に創作活動、調理、レクリエーションを行っています。当日は一緒にお手伝いして下さるボランティアと共にサポートしています。

対象 篠原地区在住の障がいのある小5～中3

定例日時 年5回（第4金曜日） ※平成26年度実績

会場 篠原地域ケアプラザ 多目的ホール
(篠原東 2-15-27)

参加費 1回 300円

財源 参加費
港北区社協より助成

保険 ボランティア行事保険に加入

広報周知 参加者募集については篠原地区の小・中学校に案内を持参
ボランティア募集についてはチラシを高校・大学・金融機関に配布

申込・問い合わせ 篠原地域ケアプラザ (TEL423-1230)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

道で会った時に挨拶しあえる関係、地域の中での交流の場づくりを目的としてスタートしました。

障がい児の放課後の居場所づくりを支援するために障がい児の居場所に関するニーズ調査を行い、各施設を見学し具体的なプログラムの立て方や子どもへの接し方などを学習しました。

関わっている人たち

自治会役員、民生委員、一般ボランティア（高校生、大学生を含む）

活動をすすめる工夫

プログラム中、参加者もボランティアも安全に楽しんで活動が出来るように、基本的な事項、子どもと接する時の留意点など話し合いながら、お子さんのペースに合わせる様に心掛けています。

声を聞く工夫

学校を訪問し、先生方の意見を聞き、またボランティアの意見交換をしています。

地区社協との関係

わがまち篠原の活動の一つです。

これからのむけて

居場所が定着するように回数を増やしていきたいと思います。また、ボランティアの人材確保も大事にしていきたいです。

分野：障がい 活動種別：独自の取組み

事業名： **コーヒーフレンドしのはら**

活動内容

「コーヒーフレンドしのはら」は障がい者の自立支援を目的として、障がい者とボランティアが一緒になってコーヒーを提供しています。現在、開店当初から活動している3名の障がい者の方が通っており、楽しそうに接客をしています。

なお、同じフロアで「ごぼうハウス」、「しのはらクラブ」、「コーヒーフレンド」の3団体が各曜日ごとに営業しています。

対 象 篠原地区センター、篠原地域ケアプラザ来場の方

定例日時 第1・3土曜 10～15時（コーヒーフレンドしのはらが運営）

※毎週木曜日 11時～14時（ごぼうハウスが運営）

※第2日曜 10時～15時（しのはらクラブが運営）

会 場 篠原地区センター 1階ロビー

（篠原東 2-15-27）

参加費 100円（コーヒー代として）

財 源 地区社協より助成、参加費

広報周知 わがまち篠原HPに掲載



申込・問い合わせ 篠原地域ケアプラザ （TEL423-1230）

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

港北区役所、地区社協の支援のもとに障がい者の自立支援、地域住民との親睦を目的に平成10年7月に開店しました。開店までに障がいがある方たちとの接し方、お客様に出すコーヒーの淹れ方、接客の仕方等々、何回も外部の方達を講師に迎えて勉強会を開きました。

関わっている人たち

始めは各町内会から1人ずつ出ていました。都合で辞められた方がいましたがなんとか補充して、現在では1回の出店時5名（ボランティア）、3名（障がい者）で営業しています。

活動をすすめる工夫

障がい者の方とボランティアさんがペアとなってその人に合った支援を行えるよう心がけています。自分の意思を伝えることが難しい方とのコミュニケーションには連絡帳を使ってのやり取りや、接客が苦手な方にはボランティアが横について支援しています。

声を聞く工夫 接客だけでなく、普段の生活の困りごとの相談にもものっています。

地区社協との関係

地区社協からの助成金を受けているため、予算計画の提出及び決算報告を行っています。

これからにむけて

ケアプラザ・地区センターに来場の方々のいこいの場になるようにしていきたいと考えています。

地区名 **樽**

分野：子ども 活動種別：サロン

事業名：**ちびたる**

活動内容

子どもを持つお母さんたちが、育児や家庭のことなどについて、気軽に話し合うことにより、悩みや育児の情報等を共有し合い、リフレッシュできるような“場づくり”“仲間づくり”をめざしています。

季節感に富む年中行事や講師を招いての子育て講話や勉強会を開催しています。

対象 0歳から未就園児の親子（居住地域等の制限はありません）

定例日時 第1水曜日・第3金曜日

10時～11時30分

会場 樽町地域ケアプラザ、
樽町しょうぶ公園
（東急東横線綱島駅から徒歩10分）

参加費 無料

財源 港北みんなの助成金

保険 傷害保険

広報周知 チラシ（掲示・参加者へ配布）、
ココメール等

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

主任児童委員に、親子が集える場所や子育て情報がほしいとの声が寄せられました。また、樽町地区に転入してきた親子が孤立し、「孤育て」の様子がみられていました。そこで、地域の親子と一緒に安心して遊べる居場所づくり、仲間づくりを目的に、平成9年11月、「樽町子育て支援サークル」として発足し平成15年5月「ちびたる」に改称しました。

関わっている人たち

子育て支援ボランティア、主任児童委員、民生委員児童委員

活動をすすめる工夫

- * 子ども同士、親同士、そして親子が遊びを通してふれあいを深められるように、手作り遊び、工作、季節感に富む年中行事の活動を中心に捉えています。
- * 父親の参加も期待して、開催日が祭日に当たっても実施しています。
- * 活動終了後、スタッフミーティングを実施しています。

声を聞く工夫

行事の企画に参加してもらう中で、親の意見・要望等を聞いています。

地区社協との関係

地区社協から支援・指導を受けています。

これからにおいて

スタッフとなる子育て支援ボランティアさんを確保し、連携、協力を深めていきます。またスタッフへの各種研修の充実を図っていきます。またちびたる「OB」の母親へ、ちびたるのボランティア協力依頼について検討しています。

分野：子ども 活動種別：サロン

事業名：子育てサロン **たんぽぽにつば**

活動内容

地域の親子が気軽に参加し、友達づくりや育児の話題を共有できる場づくりが目的の子育てサロンを開催しています。コンサート(クリスマス・サマーなど、地域で活動する演奏家を招いて一緒に演奏)、桃の節句、端午の節句、七夕、ハロウィン、クリスマス等季節の行事とそのデコレーションの製作・飾り付けや、手遊び、季節の歌、エプロンシアター、紙芝居、お誕生日会などを開催しています。地域の公園等での屋外遊びなども行い、親子で誰もが参加できる活動を目指しています。

対 象 1歳以上4歳未満の子どもとその保護者

定例日時 1・8月を除く毎月開催しています。

第二火曜日の午前10時から(中之久保会館)

第三火曜日の午前10時30分から(新田公園)

第四火曜日の午前10時から(フリースペース中之久保会館)

会 場 中之久保会館(新羽町857-1)・新田公園(新田地区センター横)



『普段の活動の様子』



『12月クリスマス会』

参加費 なし

財 源 港北みんなの助成金、新羽地区社会福祉協議会
新羽連合町内会からの助成金

保 険 ボランティア保険

広報周知 町内会回覧、掲示板、口コミ等

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

核家族や他地域からの転入者が多く、子育て中のお母さんに地域や町会の中に溶け込んでもらえるよう、ホッとできる場所・時間の中での友達づくり・グループづくりをし、育児などの話題を共有できる場を提供することを目的に、新羽地区支えあい連絡会の協力を得て始めました。

関わっている人たち

新羽地区社協、連合町内会、支えあい連絡会、民生委員、主任児童委員、地域の子育て支援者、ママさんボランティア

活動をすすめる工夫

地域のみなさんが参加しやすいよう、町内会との連携を強めています。

声を聞く工夫

毎回開催後にスタッフで反省会を行い、参加者の意見を次回に反映しています。また、フリースペース時のお母さん方の話も活動に取り入れています。

地区社協との関係

地区社協からの助成金を受けているので、活動内容の報告を地区社協に行っているほか、メンバーの中に社協の関係者が入っているので、社協との関係はとても良好です。

これからに向けて

従来の活動を維持していくのはもちろんですが、参加人数が多いので、開催回数を増やせるかどうか、ボランティアスタッフを増やせるかどうか検討中です。

分野：子育て 活動種別：サロン

事業名：新吉田地区子育てサロン **よしだっこ**

活動内容

新吉田・近隣地域にお住まいの親子が、無料で利用できるサロンです。新吉田地域の子育て支援事業の一環として、地域での交流・情報交換の場として利用できるよう開放しています。

みんなで楽しく、居心地のいいサロンをつくっています♪

- ❖ママたちの友だちづくりや情報交換の場
- ❖手遊びや紙芝居
- ❖季節の楽しいイベント… 等々

対 象 新吉田地区及び近隣地区在住の未就園児親子 *近隣地域の方もOK

定例日時 毎月第2木曜日 10時～11時30分

会 場 新吉田中央町内会館
(綱島駅よりバス 新田農協前バス停徒歩3分)

財 源 新吉田地区社協・連合町内会から助成
港北みんなの助成金

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 チラシを活用 (掲示版・町内回覧版)

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

かねてより地域の念願だった子育てサロンの開設は、主任児童委員さんの熱い思いから提案され、「ひっとプラン港北」新吉田地区福祉保健計画の3つの柱の中の1つとして、立ち上がりました。連合町内会・地区社会福祉協議会・民生児童委員協議会 この3つの地域組織が一致協力して、支援に取り組んでいます。また、会場選びには、周辺環境に配慮し「自然と安心」が確保できる町内会館で開催する事で、外遊びの環境も、車での来場も可能となり、多様な用途を実現しました。

関わっている人たち

民生児童委員・主任児童委員(毎回平均15名前後)、区役所こども家庭支援課保健師、子育て支援拠点「どろっぷ」ひろば担当、新吉田ケアプラザ地域交流

活動をすすめる工夫

季節に応じたイベント(七夕会、水遊び、クリスマス会など)、赤ちゃん体操、紙芝居、人形劇など、地域のボランティアさんの応援も受け充実した内容になりました。運営の担い手育成は今後の課題です。

声を聞く工夫

参加者へのアンケートを配布

地区社協との関係

新吉田地区福祉保健計画「ひっとプラン港北」事業

として資金や広報の支援を受けています。

これからにおいて

スタートして1年弱経過、平均28組の親子さんの参加で、地域イベントの情報提供や、ママ同士の交流の出来るプログラム作りを心がけ、みんなで楽しくをモットーに、居心地の良い、顔と顔の繋がる場所づくりを心掛けて行きます。

分野：子ども 活動種別：サロン

事業名：高田地区子育て支援事業 親子の広場「たかたっ子育て」

活動内容

子育て中の親子を対象とした広場で、手遊びや歌を歌ったりと子どもを遊ばせながら、楽しくおしゃべりをして友達を作ったり、ほっと一息ついてもらう、また子育てに関する相談や地域の情報提供の場となっています。

「おひさま」では手遊び等のお楽しみがあります。「あおぞら」ではフリースペースで自由に過ごしています。

対 象 高田地区在住の0歳～未就園児

定例日時 毎月2回 10時～11時30分

おひさま 第1木曜日

あおぞら 第4火曜日

会 場 高田地域ケアプラザ

参加費 無料

財 源 賛助会費（7万）

港北みんなの助成金（6.8万）

保 険 団体の傷害保険に加入

広報周知 赤ちゃん会、子育て相談、
赤ちゃん訪問等でチラシにてお知らせ

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

区の保健センターより平成17年から引き継いだことがきっかけです。準備としては主任児童委員・民生委員とで他地区の子育てサロンを見学しました。地区社会福祉協議会、高田地域ケアプラザの協力も得て話し合いを重ね、地域が主体となり始まりました。平成21年より、利用者が多いこと、親子からの要望が多いことからフリースペースとして「あおぞら」を増やし、月2回の開催になりました。

関わっている人たち

主任児童委員2名・民生委員2名・ボランティア3名（たかたっ子に集っていたお母さん）

活動をすすめる工夫

集ってきた親にできることで（手遊び等）参加してもらい、持っている力を引き出し、活動につなげています。
親子の自主サークルとも連携して活動を広げています。

声を聞く工夫 年度末に参加者へアンケートを行っています。

地区社協との関係 メンバーが地区社協の役員になっています。また、助成金を受けており予算計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて ボランティアさんの確保やサークル継続のためのフォローについてなど課題はありますが、これからも連携して活動していければと思います。

地区名 日吉

分野：子ども 活動種別：独自の取り組み

事業名：日吉地区子育て応援ボランティアネットワーク **ポコ・ア・ポコ**

活動内容

子育てを始めたばかりの人と、街の中で気軽に声をかけ合える関係づくりを目指して、日吉地区の赤ちゃん会やリーダー会の運営に協力しています。

日吉地区の育児サークルの応援もしています。ママの赤ちゃん会やパパの赤ちゃん会・パパの体操教室では、赤ちゃんとのふれあい遊び、お楽しみシアター、話し合いのグループワークも行っています。

保育や講演会、赤ちゃんの見守り、パパの教室など、対象を母親、母子だけでなく、家族に向けてもさまざまな企画を開催・協力しています。

対象 乳幼児とその保護者をサポートできる人

定例日時 「赤ちゃん会」や「ふたごの会」にて、
（区役所福祉保健センター主催
※4月と11月はポコアポコ主催）
必要に応じて保育など



会場 地区センター、コミュニティハウス、ケアプラザなど

参加費 会費1000円、他に保険料実費

財源 日吉地区社協からの助成金
港北みんなの助成金



保険 ボランティア活動保険に加入

広報周知 関わっている赤ちゃんや公園遊びの様子は
各所のホームページや広報紙に紹介されています
（箕輪町.com <http://www.minowachou.com/>など）

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

日吉地区の子育てを応援しようと、既に日吉で育児サークルや子育て中の母達をサポートしていたHさんと区役所の保健師の呼びかけで、育児サークルのOG10人程が中心となって平成12年3月に結成したネットワークです。子育てを始めたばかりの人と、街の中で気軽に声をかけ合える関係づくりを目指しています。

関わっている人たち ボランティア有志22名がメンバーです。親と子のつどいの広場こんぺいとうや鯛ヶ崎プレイパークの世話人、市の子育て支援者、赤ちゃん訪問員などしている人もいます。また区の保健師もオブザーバーで協力しています。

活動をすすめる工夫

会の中に先輩ママや地元の子育て支援に関わっているメンバーがいるので（子育て支援者やこんぺいとう・子育てサロンはひふへほ・プレイパーク・公園遊び等のスタッフ・保育園勤務の人たちなど）、いろいろな面で子育てをサポートでき、他の団体とのネットワークも図れます。

- ・色々な情報を共有、発信できる
- ・区役所福祉保健センターとのパイプ役
- ・サポートを要するママを応援しやすい環境
- ・日吉地区の他の団体との協力や、区役所福祉保健センター、区社協、地域ケアプラザ、子育て支援拠点どろっぷ 他 外部との協力 など

声を聞く工夫 赤ちゃん会等でママ達とたくさん話します。

集団の中にひとりで入ってきたママたちに積極的に声をかけ、仲間づくりのお手伝いをしますし、ママから要請があったら保健師に橋渡しもします。顔なじみになることで、街で会っても気軽に挨拶をしたり道端で会話が弾む等の関係をつくれ、子どもの成長をママ達と共に喜び見守れるのを実感します。

地区社協との関係 助成金を受け、予算計画や決算報告の行き来があります

これからに向けて

子育てだけでなく、親子支援として親への支援も取り入れていきます。

地区名 **日吉**

分野：子ども 活動種別：独自の取組み

事業名：パパの教室**活動内容**

毎月行っている「赤ちゃん会」のパパ向けとして、毎年2回開催しています。
お互いの顔が見えるように輪になって座り、子育てボランティアと一緒に、手遊びや他の赤ちゃんとふれあったり、子どもと身体を動かしたり、パパ同士でグループになって交流したりしています。

【6月】“パパの体験赤ちゃん会”（0歳児（第1子）の赤ちゃんパパのみ）
毎月のおかちゃん会をパパ向けに開催

【11月】“パパと体操”（3歳児未満（第1子）の幼児とパパのみ）
体操の先生（山口恵美子先生）をお呼びして、パパと子どもと一緒に遊
びながら楽しく身体を動かすもの

対象 子育て家庭の父親と子ども

定例日時 毎年6月と11月の2回開催
6月：0歳児（第1子）の赤ちゃんパパのみ
11月：3歳児未満（第1子）の幼児とパパのみ

会場 日吉宮前公会堂（日吉 5-18-29）
（日吉駅よりバス 10分 92系統宮前中町下車または
93系統日吉五丁目下車 徒歩5分
日吉宮前公会堂入口の道路標示が目印です）

参加費 無料

財源 日吉宮前地区民生委員児童委員協議会

保険 なし

広報周知 チラシの手配り、自治会掲示板

申込・問い合わせ

6月は自由参加のため直接会場へ集合

11月は申込み制のため 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成17年福祉保健センターからの声かけで、パパの仲間づくりを目指し「日吉地区（5地区）パパの教室」を実施していましたが、会場の下田地域ケアプラザは日吉宮前地区からは遠いため参加がなく残念に思っていました。そのため平成19年に日吉宮前公会堂で3回開催したところ、近ければ参加するパパがいることがわかり、地区民生委員児童委員協議会（地区民児協）に諮って日吉宮前地区民児協主催の単独活動として毎年2回開催できるようになりました。

関わっている人たち

地区民生委員児童委員・主任児童委員、子育てボランティア（ポコ・ア・ポコ、キッズステーション等）、日吉本町地域ケアプラザ

活動をすすめる工夫

父親が参加できるように日曜日に開催しています。
父親が一人で参加することに迷う方もいるので、母親の見学もOKにしています。（母親は見学のみ）
父親同士で会話できるようなプログラム内容にしています。

声を聞く工夫 当日グループ分けなどの中に入れてもらい、直接聞き取っています。

地区社協との関係 主催の地区民児協に地区社協から助成があり、予算計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

開催時間等いろいろと変えてみて参加者の変化を見てみたいと思います。また開催日を増やしてほしいという参加者の声がありますので、関係者と相談していきます。

分野： 子ども

活動種別： サロン

事業名： おおそねちびサロン

活動内容

子育て中の親が先輩と交流しながら、情報交換や、気になっていることなどを相談したり、また同じ子育て中の友達を作るなど、安心して楽しく子育てができるように居場所を提供しています。

対象 大曾根地区在住の未就園児とその保護者

定例日時 毎月第2木曜日 10時～12時
(8月を除く)

会場 大曾根会館 (大曾根 2-18-24)

参加費 なし

財源 賛助会費・みんなの助成金

保険 民間傷害保険加入

広報周知 チラシを町内に掲示

チラシ (回覧・掲示)
イベントカレンダー

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



おおそねちびサロン

親子で遊んで、おしゃべりして、仲間を作って楽しく過ごしましょう!

0才～未就園児とその保護者の方
参加無料です

場所：大曾根会館2階
日時：毎月第2木曜日
10時～12時
(8月はお休みです)

～2013年～		
4月11日	5月9日	6月13日
7月11日	8月6日	9月12日
10月10日	11月14日	12月12日
～2014年～		
1月9日	2月13日	3月13日

手遊び・ミニシアター
などの楽しみや
季節のイベントの
開催があります。
お気軽にご参加ください!

大曾根地区民生委員・児童委員協議会
大曾根地区社会福祉協議会
港北みんなの助成金事務局

(お問い合わせ)
大曾根地区主任児童委員 熊塚晴子 (541-7142)
熊谷かずみ (544-2682)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

核家族化に伴い孤立しがちな子育て中の親の育児不安の解消や、友人が作れる場所を提供しようと主任児童委員が中心になり民生委員と共にサロンを立ち上げました。

関わっている人たち

有志（ボランティア）／主任児童委員・民生委員・子育て支援者・ボランティア
現在各回約 20～30 組の親子の参加があり、年間参加延べ人数は 554 人（24 年度）

活動をすすめる工夫

子育て中の親子が情報交換したり、友達づくりができ、気軽に参加できる居場所を提供しています。

- ・参加者が自由に遊具などで遊んだり、話をしたりできる時間と、手遊びやミニシアターを皆で一緒に楽しむ時間を設けています。
- ・季節の行事を取り入れたイベント（水遊びやクリスマス会など）を開催したり、子育てに役立つミニ講座（子どもの救命救急法、歯の話、栄養の話など）も行っています。
- ・地域の子育て支援者、折紙教室の方々、ヘルスメイトの方々、歯科衛生士の方等の協力でミニ講座や先輩との交流を行っています。

声を聞く工夫

サロン終了時に感想を聞いています。

地区社協との関係

各民生委員が年 2～4 回ずつサロンに参加し、若い住民層に対して「社協」や「民生委員」の周知を行うと共に、各担当地区の親子との顔つなぎをはかっています。地区社協より賛助会費からの助成を受けており決算報告等行き来があります。

これからに向けて

参加者は年々増加していますが、担い手やボランティアは、長年同じメンバーです。サロンを卒業した保護者の中から担い手やボランティアに参加してくれる人を育てていきたいと思っています。それによって、参加者から要望がある、サロンの開催回数を増やすことができたらいいと考えます。

分野：子ども 活動種別：サロン

事業名：太尾っ子広場

活動内容

子育て中の世代にホッとできる時間と場所を提供するためのサロンです。季節の行事を楽しんでいただく他に、親子のふれあい・地域との連携を心がけながらプログラムを企画しています。

対 象 太尾地区に在住の未就学児とその保護者

定例日時 毎月第1金曜日

10時～11時30分

会 場 大綱中学校コミュニティハウス
(大倉山3-40-1)

参加費 無料

財 源 地区社協より助成、港北みんなの助成金

保 険 ボランティア行事用保険



広報周知 地区内掲示板、子育て支援拠点どろっぷでポスターを掲示
赤ちゃん会でチラシを配布

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成13年度創設。核家族化が進み、子育てに悩む母親達の相談と子供たちの遊びを通して、憩える場を提供しています。

関わっている人たち

地区社協の子育て支援部会のメンバー、他の部会の方の応援
地域のボランティア

活動をすすめる工夫

子育て支援拠点どろっぷと連携をとったり、港北区まちな先生の講師をお呼びするなど、地域の力を借りて楽しい会にしていく努力を重ねています。
平成23年からは、お子さんをスタッフが預かってママ達に講習を楽しんでいただく「お母さんのための講座」も年1回行っています。

声を聞く工夫

特に声を聞く会は設けていませんが、参加者からの声はスタッフが共有するようにしています。

地区社協との関係

地区社協の子育て支援部会メンバーが主なスタッフです。地区社協より助成金を受けています。

これからに向けて

核家族化が進み、異世代との交流が持ちにくいと思いますので、子育て世代も高齢者も一緒に集い、楽しめる行事も考えていきたいです。

地区名 新吉田あすなる

分野：子ども

活動種別：サロン

事業名：子育てサロン“このゆびと～まれ！”

活動内容

- ・子育て中のママたちの情報交換とお友達作りの場の提供。
- ・手遊び、紙芝居、絵本の読み聞かせ、エプロンシアターなどのお楽しみ。
- ・季節にちなんだ簡単工作、ミニクリスマス会などのイベント。



対 象 新吉田あすなる地区にお住まいの1～2歳児親子

定例日時 毎月第3水曜日 10時～11時30分(8月、1月はお休み)

会 場 第一町内会館（新吉田町1-30-6）

参 加 費 なし

財 源 港北みんなの助成金

地区社協より助成

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 チラシ（赤ちゃん会で配布・掲示板）・ココめーる

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

新吉田あすなる地区では、小規模、中規模のマンションやアパートが次々と建設され、他地域から子育て中の若い世代の親子の転入が増加していました。

「地域の情報を得たい」「ママ友がほしい」そんなニーズに応えようと平成17年に地区民協の子育て支援事業として立ち上げました。

関わっている人たち

民生委員児童委員、主任児童委員、子育て支援拠点「どろっぷ」地域担当しんよしだ保育園の保育士さん、新吉田地域ケアプラザのコーディネーター

活動をすすめる工夫

新しい手遊びを取り入れたり、大型絵本を使った読み聞かせなど、お楽しみに変化をつけるようにしています。季節にちなんだ工作も誰でも簡単にできるように工夫しています。

声を聞く工夫

フリートークの時間を多めに設けていて、ママたちと積極的に会話をしながら興味のあることや心配していることなどをくみ取るようにしています。

地区社協との関係

- ・地区社協より地区民協に配分された中から、予算化しています。
- ・地区社協には活動報告書を提出しています。

これからのむけて

現在の活動を継続していくとともに、時代を経るにしたがって変化していくママたちのニーズに応じていけるよう、ママたちからの要望も反映していきたいと考えています。

分野：子ども

活動種別：見守りネットワーク

事業名：登下校時学童見守り活動

活動内容

登下校時、各所で小学生を見守り、交通ルールを守ること、犯罪に巻き込まれないよう注意しています。



対象 新吉田小学校、新吉田第2小学校に通学する生徒

定例日時 毎日のグループと週2～3回のグループあり

会場 学童通学路の各所

参加費 なし

財源 連合町内会、地区社協より助成

保険 ボランティア活動保険に加入

広報周知 各町内会、老人会を通して参加者募集

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



詳しくは港北区社会福祉協議会(TEL:547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成16年のはじめ、子どもがいたずら事故にあったという話から、各町会、老人会で検討されて、登下校時の見守り活動が行われるようになりました。

関わっている人たち

各町会、老人会の有志メンバー（平成25年1月現在75名）

活動をすすめる工夫

活動メンバーの募集方法工夫。日々当番の人の割り振りや都合が悪くなった人の交代などに苦労しています。

年に1回、学校・生徒による「感謝の会」が開かれており、恐縮しています。

声を聞く工夫

学校、保護者の声を参考にしています。

地区社協との関係

地区社協の役員、その他メンバーも参加しており、グループごとに永年の労に報いるため推薦し、表彰の対象としています。

これからにむけて

終わりのない活動ですので、参加者の健康に気配りし、継続していきたいと思います。

分野：子ども 活動種別：サロン

事業名：しのはランド

活動内容

未就園児と保護者が気軽に参加し、ボランティアと一緒に楽しく過ごせる居場所づくりをしています。

公園遊び：身近な材料を使った遊び・パラバルーン・手遊び・紙芝居等

サロン：4月（工作）、6月（リトミック）、9月（こもれび秋祭り参加）、10月（ヨガ）、12月（こもれびクリスマス会参加）、2月（英語でリトミック）など。

対象 未就園児と保護者

定例日時 公園あそび：原則第1月曜日 10:30～11:30

サロン：年間6回 10:30～11:30

会場 公園あそび：菊名池公園広場（菊名 1-8）

サロン：篠原地域ケアプラザ他
（篠原東 2-15-27）

参加費 なし

財源 地区社協助成金・みんなの助成金

保険 ボランティア活動保険

広報周知 年間予定表配布及びサロンは
毎回チラシ配布



申込・問い合わせ 篠原地域ケアプラザ（TEL423-1230）

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

民生児童委員有志、主任児童委員も参加し、地域のボランティアとして10年以上活動していた「公園あそび」が、平成19年に篠原地区主任児童委員主催となりました。それと同時に「サロン」を異世代交流・子育て支援事業として、篠原地区社協の助成金と協力を得て立ち上げ、二つの活動の母体を「しのはランド」と命名しました。

関わっている人たち

主任児童委員・民生児童委員・子育て支援ボランティア・講師ボランティア

活動をすすめる工夫

- 子育て世代の孤立化を防ぎ、未就園児と保護者が地域での繋がりを得るパイプ役となる活動を心がけています。
- ボラリーグに参加し、地域に住む学生を中心としたボランティアを受け入れています。
- 介護施設「こもれびの郷」での異世代交流活動を行っています。
- 公園遊びではその場で参加できる様に声かけし、遊びの材料をボランティアが多めに準備しています。

声を聞く工夫

活動時にボランティアが参加者に積極的に声をかけています。

地区社協との関係

地区社協の助成金・協力を得て活動しています。決算報告を行っています。

これからに向けて

参加者OBがボランティアとして参加できます。

分野：子ども 活動種別：サロン

事業名：子育てサロン「らっこ」

活動内容

乳幼児を養育中の親子の仲間づくりを図り、育児相談に応じています。
また、土・日曜日にイベントを開催して、父親にも育児に参加してもらうようにしています。

対 象 0歳～4歳未満の乳幼児及びその保護者

定例日時 第2、第4火曜日 10時～12時
第1金曜日 13時30分～15時

会 場 篠原地区センター・プレイルーム
(篠原東 2-15-27)

参加費 無料

財 源 地区社協からの助成金

保 険 傷害保険に加入

広報周知 チラシを活用、町内回覧のほか、
口コミ

申込・問い合わせ 篠原地域ケアプラザ (TEL423-1230)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域に子育てを応援する場所がありませんでした。核家族化や他地域からの転入者が多いことを考慮して、お母様達が自由に気軽に集まって、育児の話題を共有できる場所を提供することを目的として、当初5名が自費で始めました。

関わっている人たち

主任児童委員、民生・児童委員、保健師、コーディネーター、地域の子育て支援者、ボランティア

活動をすすめる工夫

子育て中のお母様方達が自由に情報交換ができるような環境を整え、特に季節ごとのイベント、水遊び、プール、ミニ運動会、クリスマス会等を開催しています。父親の参加も多くなっています。

声を聞く工夫

毎月第1金曜日 13時30分～15時に、お母様方からの意見・要望等を聞く時間を設けております。毎回、定刻に終わらない位の意見があります。

地区社協との関係

地区社協からの助成金により活動しているため、予算計画の提出及び決算報告を行うとともに、その都度意見交換を行っています。

これからに向けて

子育てサロン「らっこ」を立ち上げて、早や8年近くになりますが、当時、港北区では初めてだったように思います。地区社協の協力を得て活動してきましたが、ここ3年位からイベントへの父親の参加が多くなりました。

これからも、乳幼児を持ち、子育てに少しでもお悩みがあるお母様同士の楽しい交流の場を提供できるように、工夫を凝らして活動していくように努めます。

地区名 太 尾

分野：高齢 活動種別：地域たすけあい型ボランティア

事業名：太尾ふれあいクラブ

活動内容

地域住民と高齢者が相互扶助により支えあいながら、明るい町づくりを目指す有償のボランティアグループです。

買い物、掃除、洗濯、草取り、枝払い、電球交換、ゴミ出し、見守り、パソコン指導などを行っています。また、高齢者・児童の送迎、子育て支援事業団体の紹介や相談も受けしています。

対 象 太尾地区に在住の65歳以上の方

定例日時 月～金曜日 9時～12時

会 場 利用者宅など

利用料 1時間600円/30分300円

財 源 地区社協5万、年末配分10万、
みんなの助成金7万、利用料
独自の賛助会費など

保 険 福祉サービス総合補償

広報周知 広報「ふれあい便り」、
利用者案内を回覧や掲示版で周知

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域住民と高齢者が相互扶助により安心して暮らせる明るい町づくりを目指して設立検討会を立ち上げ、地区全体にアンケート調査を行い、住民のニーズに合わせたサービス内容を設定しました。既存のボランティアグループの調査やコーディネーターの勉強会、ボランティアサービス手順のシミュレーションも行いました。

関わっている人たち

町内会長、民生委員、ボランティアなど
サービス内容に対応できるボランティアを地区全体に呼び掛けました。

活動をすすめる工夫

月1回定例会を行い、コーディネーターの活動報告や意見交換を行っています。年に1度「ふれあい便り」を発行したり、ボランティア募集ちらしを作成し地域のイベント時に配布し活動をPRしています。ボランティア登録時には登録証を発行し、活動中は携帯してもらうようにしています。

声を聞く工夫

利用者からはコーディネーターが見積に伺う際に要望を聞いています。ボランティアからは、ボランティアチケット精算時に作業中の様子等聞いて不満が残らないように気配りしています。また、相互理解を深め会の運営を円滑にするためのボランティア懇親会の開催やボランティア登録証の更新を3年に1回行っています。

地区社協との関係

スタッフは地区社協の役員になっており、助成金を受け予算計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

付き添いの支援、食事の支援等サービス内容を拡充していきたいです。

地区名 **樽**

分野：高齢 活動種別：配食活動／会食会

事業名：**わかば会**

活動内容

毎月20日に実施。参加できない人には民生委員の安否確認を兼ねて配食をしています。給食では地域の方に昔のお話を聞いたり、頭の体操やクイズなどを行っています。年に数回はシャンソン歌手を招き、歌ありラテンありでみなさん大喜びです。毎月お誕生日の人には特別のバースデーソングを、希望があれば好きな曲も演奏してくれます。ちびっこのかわいい踊りや南京玉すだれ、ハーモニカの演奏などもあり、時には氷川きよしのずんどこ節に合わせみんなで身体を動かして楽しい踊りをしています。友達もたくさんでき、とても良い交流の場となっています。

対象 樽町地区在住で65才以上の
単身世帯の方

定例日時 毎月20日

会場 樽町地域ケアプラザ
(東急東横線綱島駅
から徒歩10分)

参加費 会食200円 配食250円

財源 地区社協より助成、参加費

保険 ボランティア活動保険

広報周知 口コミでの参加が多く、
時には人数の関係で
お断りする場合があります

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

【きっかけ】

昭和38年頃より平成3年3月までは大曾根・樽町合同で行っていましたが、平成3年4月より地区が分区され、樽町単独でグループをつくり活動を始めました。

【準備】

当初は自治会館で行っていたため、台所の設置やなべ等の備品の調達に苦劳しました。細かなものは地域の方々からの寄付で集めました。

関わっている人たち

民生委員、地域のボランティアの方々

活動をすすめる工夫

活動グループを5班に分けて活動し、5ヵ月に1度ずつ当番が回ってきます。班長を中心にメニュー会議をし、家庭料理のアイデアなどを出し合っています。下ごしらえなど手間のかかるものは得意な人が担当しています。また、うがい、手洗いを徹底しノロウィルス等の予防に努めています。

声を聞く工夫

何をして良いか迷った時は参加者一人一人にマイクを回して、食事の事など思いつくままにお話しいただいています。

地区社協との関係

良好に保たれています。地区社協より助成を受けています。

これからにおいて

食事をつくっているボランティアさんが高齢化してきており担い手を探すのに苦劳しています。新たな担い手の発掘が課題となっています。

地区名 城 郷

分野：高齢 活動種別：会食会

事業名：ふれあい昼食会 **グループひまわり**

活動内容

城郷地区にお住まいのおひとり暮らし高齢者を対象に、ふれあい昼食会を開催しています。ふれあい昼食会を通じて、自立と健康のお手伝いと交流の場にしていただきたいと思います。私達の住む街が、住民同士が支えあい、高齢者の住みやすい地域となるために努力していきます。

対 象 城郷地区に在住の70歳以上のひとり暮らしの方

定例日時 毎月第2金曜日11時30分～13時

会 場 城郷小机地域ケアプラザ

参加費 300円/回

財 源 地区社協 11万・
みんなの助成金 6.8万・参加費

保 険 福祉サービス総合補償

広報周知 地域ケアプラザが対象か確認し、
活動を紹介してくれます。

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成16年8月に地域ケアプラザが開設されたことをきっかけに何か地域の一環として手助けができないかと代表者がケアプラザに相談しました。当時、食生活等改善推進員（ヘルスマイト）の会に入って食に関する勉強をしていたため、ヘルスマイト12名で始めることとなり、1年間地域ケアプラザの支援と協力をいただき、月1回の話し合い（献立等）を行い、平成17年1月から発足しました。この話し合いでボランティアが交流を深めることにもなりました。参加者の募集は、対象者が70歳以上の一人暮らしの方であったため、地域ケアプラザで確認していただき活動を紹介していただいています。

関わっている人たち

ボランティア、地域ケアプラザ

活動をすすめる工夫

毎回、出欠確認のため、参加者へ連絡をしています。ケアプラザの1室を予約して（月1回）献立の打合せ、前日の買い物年に1回、調理・会場準備・配食ボランティア、ケアプラザとの懇談会を行っています。ヘルスマイトの知識を活かし、メニューを考えています。

声を聞く工夫

調理ボランティアがテーブルに加わり、声を聞いています。

地区社協との関係

代表が地区社協理事となっています。助成金を受け、予算書や決算報告をしています。

これからに向けて

ボランティアの確保、ケアプラザの協力と支援をいただき、全ての面に試行錯誤しながら続けていきたいです。利用者へアンケートを取り、来てくださる方の思いに合わせるように努力していきたいです。

地区名 城 郷

分野：高齢 活動種別：会食会

事業名：「ダン・ラン」～男同志の昼食会～調理ボランティア

活動内容

高齢者サロン「ダン・ラン」～男同志の昼食会～は、城郷地区在住のおおむね65歳以上の一人暮らし男性を対象とした昼食会です。家に閉じこもりがちになる方が多い男性に地域活動に参加していただくことで見守り活動を行っています。

私たちは、「ダン・ラン」においてメニュー作成と調理を担当しています。

平成24年8月に立ち上がった城郷地区ボランティア連絡会に加入し、他団体との情報交換を行っています。

※下記は「ダン・ラン」～男同志の昼食会～の活動状況です。

対 象 城郷地区在住のおおむね65歳以上の男性(お一人暮らしの方優先)

定例日時 毎月第4日曜日 12時～13時30分

会 場 城郷小机地域ケアプラザ
(JR小机駅徒歩1分)

参加費 300円(食事代)/回

財 源 見守りネットワーク構築支援事業20万、地区社協5万、参加費

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 チラシ(掲示・配布)

民生委員による案内

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

ひとり暮らしの高齢男性の見守り活動「ダン・ラン」～男同志の昼食会～は、平成23年10月より城郷地区見守りネットワーク構築事業の一環として男性の孤独死防止の観点から企画し、活動しています。参加者の募集は、民生委員・地域ケアプラザからの声かけや町内会掲示板にポスター掲示を行いました。立ち上げ当初は、プログラム会場担当は城郷地区支えあい連絡会が行い、民生委員が調理と配食活動も行っていました。平成24年度より調理に関しては、ボランティアで行うこととなり配食活動も民生委員事業となりました。半年間活動した民生委員からもボランティアとして参加してもらえたため、円滑に活動に入れました。

関わっている人たち

ボランティア登録者 22名

活動をすすめる工夫

参加者には、支えあい連絡会で毎月出欠の連絡を入れています。調理については、無理のないように登録時に参加出来る状況を伺い、10名くらいで調理できるように、ローテーションを組んでいます。調理者のやりやすいように調理方法・材料などその場で変更することもあります。メニューは半年分を皆さんが食べたいものを提供できるようにと全員で話し合い決めています。

声を聞く工夫

味の感想や食べたいものについては、帰りに声掛けしたりして参加者に直接伺うようにしています。担当民生委員からお話を伺うこともあります。

地区社協との関係

地区社協の事業費支援を受けています。数名が地区社協の理事・評議員になっています。

これからに向けて

今後も限られた予算の中で、皆さんに喜んでいただける料理を提供できるように努力と工夫をしていきたいと思えます。

地区名 **大曽根**

分野: 高齢 活動種別: 会食会

事業名: **大曽根やすらぎ昼食会**

活動内容

大曽根在住のひとり暮らしの高齢者が月に1度大曽根会館に集い、手作りの食事会を楽しんでいます。健康づくりの話を聴いたり、落語や歌などのお楽しみもあり、“外出”することでより元気に、前向きに日々を過ごしていただきたいと主催者は願っています。

対 象 大曽根地区在住のひとり暮らしの高齢者(65 歳以上)

定例日時 8月を除く毎月20日(定例日の20日が金曜日、日曜日の時は21日)

会 場 大曽根会館 (大曽根2-18-24)

参加費 1食300円

財 源 賛助会費・300,000円

港北みんなの助成金 68,400円

会費 300円

保 険 担い手はボランティア活動保険に加入

広報周知 イベントカレンダー

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

昭和58年、民生委員が中心となり、「老人給食」として発足しました。港北区の中でも高齢者の多い大曽根地区のボランティア活動の先駆けとなりました。発足時からの現役担い手の活躍は、後に続くものへの目標となっています。多くの先輩のこうした努力が報われこのたび「厚生労働大臣賞」をいただきました。今後も大曽根に根ざし励んでいきたいと思っています。

関わっている人たち

大曽根地区在住の本会に賛同する方（現在女性38名）が担い手として登録しています。3グループが1か月ごと順番に活動しており、各班長の下、メニューの考案、買い物、食事作りを担っています。

役員は、代表、副代表、会計、各班長計6名。毎月役員会を行い、会員の状況を話し合い、毎月の内容の検討、会場作り等を行っています。

活動をすすめる工夫

高齢者が楽しみにいらしていただけることを第一に考えています。季節感＝旬を大切にメニュー作りを心がけています。「美味しかった」の一言に担い手は喜び、腕を奮っています。衛生には勿論配慮をし、器具の熱湯消毒、配膳の際の手袋、マスクと気をつけています。食後のお楽しみも、地域のボランティアの協力をいただいています。

声を聞く工夫

会員のテーブルに入って共に食事をしながら味や量について感想を伺っています。

地区社協との関係

代表は地区社協の副会長の任につくようになっています。

これからにおいて

担い手の充実（若い人を迎え、育てたいです）、会場作り（テーブル、椅子の出し入れ）が大変なため、良い方法はないか思案中です。

分野：高齢 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「いこいの集い」

活動内容

篠原東自治会「いこいの集い」は昭和61年に篠原東自治会館が出来たのをきっかけに始まった、篠原地区で最初のミニデイサービスです。

手作り工作や絵手紙、折り紙など手先を使って楽しめるプログラムや近隣の幼稚園児との交流会、年に2回のお花見やバス旅行等の外で楽しめるプログラムを企画し、参加者に楽しい1日を過ごしてもらえるよう活動しています。

対 象 篠原東にお住まいの65歳以上の方

定例日時 毎月第1月曜日 13時～14時30分
(8月を除く全11回)

会 場 篠原東自治会館（篠原東1-12）

参加費 無料

財 源 みんなの助成金

地区社協（賛助会費還元・年末たすけあい）
自治会

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 掲示板
参加者には次回の案内を渡しています

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

昭和61年4月に篠原東自治会館ができたのをきっかけに自治会館の和室を高齢者のサロンに使用したいと思いはじめました。始めるにあたっては、「ボランティアにあまり負担がかからないようにするには、どうしたら良いか」と「みんなで楽しめる事は何か」について考え、知恵を出し合いながら進めてきました。

関わっている人たち

民生委員・登録ボランティア 12名程

活動をすすめる工夫

工作などは季節感のあるものを取り上げ、それを使って楽しんだり、持ち帰ってからも使えるものを考えています。

具体的なプログラムとしては手作り工作（和紙の写真立て）、絵手紙、折り紙（紙相撲大会）など手先を使って楽しめる内容にしています。また、近隣の幼稚園の園児との交流会を企画し歌や工作を一緒に行い交流を深めています。

声を聞く工夫参加者から話を聞く機会を年に1回設けています。またミニデイ終了後ボランティア同士で意見交換する機会を設け、参加者の声を反映させています。

地区社協との関係

賛助会費からの助成金を受けていて事業報告や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

高齢化や引っ越しにより参加者が減少しているため、老人会や民生委員に声かけをし、新しい参加者が増えるように力を入れていきます。また新しいボランティアの方も募集しています。

地区名 **師岡**

分野：高齢 活動種別：地区リハビリ

事業名：師岡「いきいき体操」

活動内容

寝たきりや認知症を予防し、老後を豊かに暮らしたい。という思いからはじまった体操事業です。ストレッチ、ボールやゴム紐を使ってゲーム感覚の体操などをします。平成24年度には参加者を一新し、今まで参加できなかった方の参加を募り、地域住民が地域で楽しく健康に過ごせるよう活動しています。

対象

65歳以上で師岡町会館まで1人で来られる方
ひとり暮らしの高齢者、認知症の方の介護者 等

定例日時 月2回（第1・第3月曜日）

10時～12時

会場 師岡町会館（大倉山駅より徒歩15分）

参加費 1カ月500円（徴収は2か月毎）

財源 参加者の参加費用

地区民児協の活動予算

保険 民間保険

広報周知 チラシ（掲示・回覧）・民生委員の口コミ

地区社協総会資料（全戸配布）

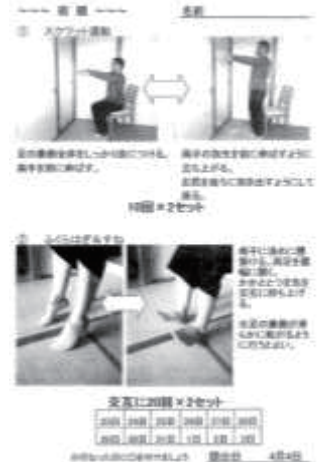
申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



↓体操の様子↑



宿題のシート



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成22年度に地区民児協で「認知症」について学び、樽町地域ケアプラザ主催で「師岡いきいき体操」を春5回、秋5回実施しました。集まった方も民生委員も楽しいひとときを過ごせ、また体を動かす爽快感があったため、民生委員の事業として継続して続けることになりました。

関わっている人たち

民生委員・ボランティア・体操の先生

活動をすすめる工夫

2週間に1度の体操教室で宿題（その回の重点的に鍛える運動）のシートが配られ、次の会で提出します。継続することで体力がつき、以前は難しかった運動ができるようになることが喜びにつながります。また、開始前に血圧測定を行い、参加者の皆さんと民生委員が顔を見てお話ができます。定期的に集まる教室のメンバーとも仲良くなれます。先生も面白い方です。

声を聞く工夫

受付で会費の徴収や血圧測定、当日の体調の聞き取りを民生委員が実施

地区社協との関係

地区社協のメンバーでもある民生委員が主になって行っている事業です。

これからおいて

町内会館に通う事のできない方や、今の参加者よりも少し高齢の方にも体操に参加していただく工夫を考えていきたいです。また、いつまでも民生委員主催でなく、多くのボランティア参加で自主的に行える方法がないか検討していきたいと思っています。男性の参加者が少ないので、今後は男性参加者も募っていきたいです。

分野：高齢者 活動種別：地区リハビリ

事業名：パワーアップにつば

活動内容

町内の活力を向上させるため、高齢者の転倒防止とメタボ防止を目指して活動しています。

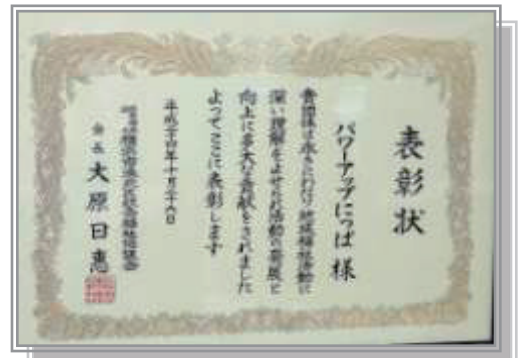
- ①健康体操（ストレッチ、はまちゃん体操など）各地区の老人会の例会にボランティアの方から出向いて一緒に体操をサポートしています。
- ②脳トレ（お手玉、手ぬぐい、ボール使用）脳のトレーニングを体操とともに重点的に行い若返りをはかっています。
- ③ウォーキング（年末、3月最終日曜日の年2回）単に歩くだけではなく識者（講師）の解説で町内の歴史を再発見できるようにしています。

対 象 1 町内6地区（新羽町自治会、中央町内会、北新羽町内会、中之久保町内会、新羽町内会、大竹町内会）の老人会、各地区会館へ出向き体操実施

定例日時 毎月第2木曜日 18時30分～20時



『普段の活動の様子』



『平成24年に区社協より表彰』

会 場 (株)マルナカホーム会議室（新羽町896）

財 源 地区社協からの賛助会費還元金（6万）

保 険 ボランティア活動保険（ウォーキング時）

広報周知 チラシ（ウォーキング時）掲示版への掲示、口コミ

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

港北区福祉保健計画（港北 FFF「ふるさと・ふれあい・ふくしの輪」）の一環として、平成18年より活動を開始しました。町内の活力を向上させるため高齢者の転倒防止とメタボ防止を目指して発足した活動です。

関わっている人たち

地区社協、連合町内会、民生委員、保健活動推進委員、ボランティア（有志）区役所、新吉田地域ケアプラザ。町内全体を対象にした事業のため、地域諸団体に依頼し、広く人材を求めました。

活動をすすめる工夫

毎月の定例会（第2木曜、18時30分～20時）で活動し、反省を話し合っています。活動する場所はほとんどが各地域の会館で、時間帯などで調整が難しいこともあります。チラシでのボランティア募集なので、新規に加入してくれる人の確保も目標の一つです。

声を聞く工夫

マンネリ化しないよう反省会で工夫検討しています。

地区社協との関係

賛助会費財源などの助成金を受けていて、予算計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

- 区役所をはじめ、勉強になる講習会には積極的に参加していきます。
- 他の同様な活動をしているボランティアグループとの交流を増やします。
- 高齢者はもとより、若年層にも活動の輪を広げたいと考えています。
- 事業を推進していくためのボランティアの人員確保が当面の課題です。

地区名 城 郷

分野：高齢 活動種別：サロン

事業名：城郷よってこ会

活動内容

毎月1回ボランティアによる高齢者サロンです。毎回色々なイベントを変えております！イベントが終わった後に、ボランティアが手作りしたお菓子とお茶を楽しみます。年に4回「食べてよってこ会」も開催しております。ボランティアで考えたメニューを朝からボランティアで作り参加者の皆さまに食べていただきます。その後イベントを行います！

対 象 城郷地区に在住の高齢者

定例日時 毎月第2火曜日
13時30分～15時30分

会 場 城郷小机地域ケアプラザ
(JR小机駅徒歩1分)

参加費 100円/回(ボランティア分も含む)

財 源 みんなの助成金7万・地区社協10万・フェスタ8.6万・参加費

保 険 参加者・ボランティアの普通傷害保険(民間の保険会社)

広報周知 チラシ(掲示版)・案内状(ボランティアが配る)

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

城郷地区で平成19年度次々と老人会が担い手がいないということで消散されていき、高齢者の集まる場所が無くなっていくことは思わしくないと、支えあい連絡会が担い手となり、高齢者サロン「よってこ会」を立ち上げました。町内会の回覧や掲示版で参加者やボランティアの募集を行いました。平成23年度から支えあい連絡会より独立、ボランティアにより運営をしています。

関わっている人たち

ボランティア

活動をすすめる工夫

参加者を増やすために、一度参加していただいた方に次回開催のお手紙を送っています。また、参加しやすいように対象者を年齢で区切っていません。前年度半年前より、次の年の1年間のイベントの内容、講師などを手配、毎回お出しするお菓子を決めたり、食べてよってこ会（年4回）のメニューなどをよってこ会の終わった後の反省会で話し合います。

声を聞く工夫

イベントが終わった後のお茶会の時に参加者の皆さまにお声をいただきます。

地区社協との関係

代表者が地区社協の理事になっています。地区社協から助成金を受け、予算書や決算報告をしています。

これからに向けて

現在港北区「城郷地区ひっとプラン推進委員会」でミニよってこ会を行っております。これから少しづつですが、回数を増やし誰でもが気軽に立ち寄れるサロン運営をしていきたいと思っております。

地区名 城 郷

分野：高齢 活動種別：サロン

事業名：城郷ひろば

活動内容

高齢者の居場所作りとして、毎月2回サロンを開催しています。
内容は折り紙、手芸、脳トレ、ゲーム、おしゃべり、会食(昼食)等を織り交ぜながら、利用者と担い手が一緒になって楽しんでいます。

対 象 城郷地区に在住の高齢者

定例日時 毎月第2・第4木曜日 10時～14時30分

※12月 は第2のみ開催

会 場 城郷小机地域ケアプラザ

参加費 100円/回
(昼代300円※必要な方)



財 源 地区社協5万・みんなの助成金7万・参加費

保 険 ボランティア行事用保険 ※外出イベントのみ

広報周知 口コミ・地域ケアプラザ広報紙など

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

ハマちゃん体操中!



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域ケアプラザができることに伴い、活動が終了した地区リハビリ活動に協力していたボランティアで居場所を作りたいと考え立ち上げました。参加者の募集は、作成したチラシを地域ケアプラザで配布してもらいました。当初は、地域ケアプラザの部屋だけ借りてお話し会をしようと考えていました。参加者の意向を伺いながら、折り紙や脳トレなどを始めました。

関わっている人たち

ボランティア。思いの同じ人、口コミで集まっています。

活動をすすめる工夫

はまちゃん体操や歯科衛生士・管理栄養士などを招いた介護予防活動を行っています。無理をせず、利用者と担い手が一緒になって、楽しめれば良いと思っています。最初は午前中のみ開催していましたが、昼食希望者にお弁当を用意して開催時間を延長したところ、参加者が増えました。お弁当を持ち帰る方がおり、衛生面の不安があったため、現在は調理をして食事を提供しています。ボランティアの負担にならないように打合せ用の日は設けていません。また、プログラムも参加者の居場所になることが目的なため、敢えて利用者には事前に内容をお知らせせずに、当日までの楽しみとしていただいています。

声を聞く工夫

プログラム終了後に、個別に声かけをしています。

地区社協との関係

代表が地区社協評議員となっています。助成金を受けており、予算書や決算報告をしています。

これからに向けて

みんな楽しく、また来たい場所にしたいです。

分野：高齡 活動種別：サロン

事業名：生きいきサロン（ふくしの和・高田）

活動内容

音楽会・映画・落語などの娯楽の他、季節に応じた盆踊りの練習、新年会、敬老を祝う9月は保育園児さんとの交流後の食事会、そして健康や身の回りの安全についての講座などを行っています。

また、毎回軽い体操、季節の歌の合唱、看護師による血圧測定・健康相談を実施しています。

対 象 高田地区在住の65歳以上で
高田地域ケアプラザまで自力で来られる方

定例日時 毎月第3水曜日 10時～12時

会 場 高田地域ケアプラザ

参加費 100円（お茶菓子のみ）
200円（軽い食事・イベントセットメニュー）

財 源 港北みんなの助成金
地区社協（賛助会費還元・年末たすけあい）

保 険 加入なし

広報周知 チラシ（回覧・葉書発送）・ホームページ

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成4年「ふくしの和・高田」発足以来、送迎・家事手伝いなどの活動をしていましたが、介護保険が導入され、ケアプラザも開所し活動内容を再検討しました。

その結果、時代のニーズに対応して「元気で楽しい老後を！」という観点からサロンを開設しました。

関わっている人たち

有志(ボランティア)民生委員 民生委員 OB 高田地区社協

活動をすすめる工夫

毎年、年度初めに12ヶ月間の内容やボランティアさんの配置、役割分担を決定しています。毎月終了後に打ち合わせの時間を持ち、当日の反省点や次回へ向けての改善点などを話し合い、また次月の内容の流れやお手伝いなどボランティアさんへの周知を徹底しています。

声を聞く工夫

懇談しながら意見を聞く時間も設けています。

会が終わり、帰り支度時の参加者のさりげない会話を聞き逃さないようにしています。

地区社協との関係

助成金を受け、予算計画や決算報告の行き来があります。

これからにおいてマンネリにならないように毎月の行事内容を検討して変化も考えています。人気の音楽会・映画の充実と他の工夫すべき点を見直す予定です。

分野：高齡 活動種別：見守りネットワーク

事業名：要援護者向け「防災支え合いカード」

活動内容

要援護者の把握と、緊急連絡先を知るために作成した「防災支え合いカード」を敬老会の招待状と一緒に配布し、趣旨にご賛同いただいた方から回収します。登録後、民生委員が希望者宅に防災袋一式を持ち訪問しています。

情報の取り扱いについて、自治会・地域防災拠点と民生委員が共有する賛同者の情報を整理し、災害時要援護者台帳を作成・保管しています。

また、毎年情報の再点検を実施し、情報の追加は随時行っています。今後はひっとプランの中でもこの活動を盛り込み実施していく予定です。

④ 防災支えあいカード		整理No.
		平成23年10月29日
申請者	[氏名]	
	[電話]	
要援護者	生活環境	A.高齡者関係 B.障害児・者関係
	[氏名]	
	[住所]	
	[電話]	
	[生年]	
緊急連絡先①	[氏名]	
	[住所] [電話]	
緊急連絡先②	[氏名]	
	[住所] [電話]	
消防119番・警察110番 防災拠点(○)		
自治会名	民生委員 福保部員	A 網島小 B 北網島小 C 網島東小 D 日吉南小
	電話	電話
網島地域福祉保健計画推進協議会		No.

防災支え合いカード→

対 象 網島地区在住の78歳以上の方

* 高齡者以外でも加入は可 民生委員が必要だと判断した人に声をかけ、配布しています

財 源 連合町内会からの助成
地区社協からの助成

防災袋は
家庭防災員の
手作りです



広報周知 敬老会の招待をする時期にチラシを回覧。民生委員からの紹介。

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

前地域福祉保健計画推進委員会の地域懇談会の中で「緊急時に助ける体制がとれていない…」「要援護者事業をやってほしい」という要望があったため開始した自主的な活動です。周知を始めた平成18年には「行政もやっていない事業をして、何かあった時に誰が責任をとるのか？」といった声もありましたが、現在では登録者約800名にまで拡大しています。自治会や地域防災拠点との情報共有化や、区の災害時要援護者支援事業ともドッキングをして今の形となっています。

関わっている人たち

民生委員・連合自治会・地区社会福祉協議会・家庭防災員

活動をすすめる工夫・・・「あれもこれも」はしない！

民生委員に訪問や情報のとりまとめの際に大きく協力してもらっています。実際に綱島地区の地域福祉保健計画推進協議会の中で決めた活動は“年に1回程度訪問をしてもらうこと”のみ。それ以外の要望の聞き取りや、その要望に応えるか否かは各民生委員に任せています。あれもこれも、と活動を決めず負担を大きくしないことで、無理なく継続できる形になっています。

声を聞く工夫

民生委員が訪問をした際に直接対面して話をしています。

地区社協との関係

地区社協からの助成を受けた活動です。地区社協からも支え合いカードの情報管理へ協力者が出ています。

これらにおおけて

登録者への発災時の対応を検討していきたいです。支援に民生委員だけでなく、自治会のメンバーにも協力して欲しいと考えています。

分野：高齡 活動種別：見守りネットワーク

事業名： ささえあいネットワークの会

活動内容

近隣の方達が民生委員と協力して、緊急時の手助けや相談、見守りなどを行っています。地域の取りまとめは町会単位とし、無報酬のボランティア活動となります。

また、年2回程度、民生委員が集まって情報交換や地域住民向けの講座等も行っています。

対 象 大曾根地区在住の方

(定例日時) 年2～3回

会 場 大曾根会館
(大曾根2-18-24)

参加費 無料

財 源 賛助会費・年末たすけあい(5万)

保 険 加入なし

広報周知 チラシ(回覧・掲示) / イベントカレンダー

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

大倉山記念館の山から鶴見川までの間にある大曾根地区は第1種住宅専用地域ということで高層の建築物が建てられることもなく、住民は落ち着いた町として生活してきました。住民の入れ替えが少なく、初期に住み始めた住人がそのまま年齢を重ねていくということで、他の地区より先行して高齢化が進むことが予想されました。

そこで地域で安心して暮らしていくために、近所や地域での連携が先々必要になるだろうとネットワークの会の立ち上げにつながりました。

関わっている人たち

民生委員／地区社協役員／町会役員

会的人数と1回あたりの活動人数

登録者数 180人 情報交換会参加者数 50人程度

どこにどうやって集まったか 立ち上げに当たり2年くらい前から大曾根会館で事前研修を行い、民生委員を中心に声かけをし、協力者を募りました。

活動をすすめる工夫

情報交換会の際に研修を同時に行い、会員だけでなく地域の多くの方に集まってもらえるようにしています。

声を聞く工夫 参加者の意見の取り入れ方 年2~3回の情報交換会開催

地区社協との関係 担当民生委員を中心にしての活動となっています。助成金を受けており、事業報告や収支報告の行き来があります。

これからにおいて 活動を担っているメンバーの高齢化や、活動をする上での個人情報の取り扱いについて等の課題があります。

地区名 菊 名

分野：高齢 活動種別：見守りネットワーク

事業名：高齢者110番

活動内容

地域内の高齢者の見守り活動の啓発を図り、安心して暮らせる町づくりを目的に、高齢者がいつでも気軽に悩みを打ち明けたり地域と交流が進むよう、「高齢者110番」のステッカーを玄関先に掲示して相談できる“駆け込み寺”になるよう見守りしていく取組みです。

町内会役員、理事、菊名駅前の商栄会の商店、民生委員等の町内の賛同者宅に「専用ステッカー」「対処マニュアル」「事案発生記録書」の3点セットを設置し、話を聞いたり悩みを解決する専門機関との橋渡しを担います。

平成25年より本格的に賛同者を募り、100世帯でのスタートを目指しています。

対 象 菊名北町町内会と大倉山喜久和会地区の
70歳以上の一人暮らしの高齢者

(定例日時) 賛同する個人宅の玄関先へ掲示

参加費 なし

財 源 菊名北町町内会より助成（2万）
ひっとプラン事務費（0.5万）

保 険 なし

広報周知 菊名北町町内会広報紙「きくな」で案内

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

3年前の国勢調査の折に町内会役員が一人暮らし高齢者宅に訪問した際、「困りごとがあった時に誰に相談したら判らない」と耳にしたのをきっかけに、気軽に悩みを打ち明けたり見守りする仕組みをと、ひっとプラン菊名地区計画のうち菊名北町町内会で取り組みはじめました。

まず準備委員会を立ち上げ、推進委員会を2ヶ月に一回開催し、具体的な行動計画作成にて「専用ステッカー」「対処マニュアル」「事案発生記録書」等を最終確認しました。

関わっている人たち

準備委員会は民生委員3名・町内会役員3名・老人クラブ1名、オブザーバーに区役所高齢者支援担当、大豆戸地域ケアプラザ、港北警察署、区社協が協力、引き継いだ推進委員会は町内会・民生委員・地区社協で構成しています。

活動をすすめる工夫

「専用ステッカー」「対処マニュアル」「事案発生記録書」の3点セットのうち、ステッカーは子ども110番を参考にし、マニュアルと記録書は徘徊を発見したときや介護保険制度など聞かれたときなど起こりうることを老人クラブの方を中心に当事者の視点で挙げて、対応を練って作り上げました。町内会役員会、理事会、民児協等の定例会で趣旨説明し賛同者を募っています。

声を聞く工夫

ステッカーを貼ってから反響を見て、持ち寄られた相談を集めて何に悩んでいるのかなど状況をふまえて、今後の方法の検討を進めていきます。

地区社協との関係

事務局が地区社協の役員でもあります。

これからにおいて

賀詞交換会や総会などでも説明しています。ステッカー本格設置は25年度から。町内会、民児協、商業会との密接な関係が欠かせません。

地区名 新吉田あすなる

分野：限定なし 活動種別：見守りネットワーク

事業名：徘徊高齢者早期発見ネットワーク **あすなるさがしてネット**

活動内容

認知症高齢者の徘徊に対し、ネットワークの力で出来るだけ早期に発見し保護するために平成20年6月から始まりました。徘徊が発生した場合、地域ケアプラザへ連絡が入り、FAX やメールで登録者および連絡拠点と呼ばれる地域の商店等へ連絡をし、地域ぐるみで徘徊高齢者を探します。

対象

新吉田あすなる地区のお住まいの方で行方が分からなくなった方が対象です。

(定例日時)

徘徊者が発生したら随時

参加費 なし

財源 地区社協からの助成金

保険 なし

広報周知 チラシを作成し町内で配布掲示

地区社協広報誌「あすなるだより」に掲載

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会
(TEL 547-2324)



『さがしてネットのステッカー』



『徘徊者情報シート』



『模擬訓練の様子』

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成 19 年 2 月の「ささえあいネットワーク会議」のおり、新吉田地域ケアプラザ(地域包括支援センター)より、一般的に起こりうる認知症高齢者の徘徊についての事例発表があり、その対処法を話し合ったことがスタートでした。

関わっている人たち

地区社協、自治会町内会、民生委員児童委員、地域の商店や拠点となる施設（コンビニ、米屋、クリーニング店、酒屋、すし屋、マンション管理組合、スーパーなど）

活動をすすめる工夫

年 1 回、模擬訓練を行い、実際に徘徊が発生した時のシミュレーションを行っています。また、メールによる情報発信や連絡拠点の増設など、関わる人をどんどん増やしています。

声を聞く工夫

ささえあいネットワーク会議にて、参加者からの意見を聞き、活動に取り入れています。

地区社協との関係

地区社協から助成金を得ています。「支えあいネットワーク会議」は地区社協の会長が代表を務めています。

これからにおいてメール配信も始まり、配信登録者を増やすとともに、連絡拠点にスーパーなど人の集まりやすい場所を巻き込んでいきたいです。

分野：高齢 活動種別：ボランティア連絡会

事業名：篠原福祉ネットワーク委員会

活動内容

篠原地区で最初のミニデイサービスは昭和61年に篠原東自治会館が出来たのをきっかけに始まり、「歩いて行けるところにミニデイを」という発想から平成15年には全自治会の9か所で行われるようになりました。

全自治会でミニデイサービスを開催するにあたり、「福祉ネットワーク委員会」の組織を作り、定例会を通じて情報交換などを行い、内容の充実に努めています。このようなネットワーク委員会があるため、お互いの取組みがよくわかり、プログラムの情報交換やボランティアに携わる方の研修等が行え、長年にわたり全自治会でミニデイサービスを続けることができています。

対象 自治会ごとのミニデイサービス実施者

【篠原地区のミニデイサービス 9か所】

いこいの集い（篠原東自治会）	夢クラブ（仲手原南自治会）
いこいの会（富士塚自治会）	みどりの会（篠原台町）
みちくさの会（仲手原自治会）	ひな菊（菊名南自治会）
西町の集い（篠原西町自治会）	なごみ会（コーポラス自治会連合）
お茶の間（篠原町自治会）	

定例日時 隔月1回で定例会を実施

会場 篠原地区会館（菊名池公園内）

財源 地区社協より助成

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会
(TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成8年に区で高齢者訪問事業が始まるのを契機に、篠原地区社協では「地域福祉の推進」を図るためボランティアの登録制を導入。それぞれの自治会で登録されたボランティアは自治会ごとにグループを結成しました。これらのボランティアグループの連携と情報交換・交流を図り地域福祉を推進するための組織として「福祉ネットワーク委員会」を作りました。

関わっている人たち

登録ボランティア／民生委員など各自治会から2名の連絡員が参加しています。

活動をすすめる工夫

隔月1回各グループ連絡員が集まりの情報交換などを行っています。定期的集まることによって、お互いの取り組みがよくわかり、プログラムなどの情報交換ができるメリットがあります。また、ネットワークとして研修を行ったり、講座に参加したりすることでボランティアの研鑽を積むことができます。講座の内容はレクリエーションや、健康に関すること、認知症についてなどミニデイに反映できるテーマにしています。

声を聞く工夫 ネットワーク会議の中でミニデイサービス利用者からあがった声などを報告し、情報共有しています。

地区社協との関係 篠原福祉ネットワークの定例会では地区社協会長に活動報告を行い、情報共有をしています。また地区社協主催の勉強会に参加しています。

これからにおいて 利用者との相互交流を大切にし、利用者が楽しめるようなプログラムを検討していきます。

地区名 **日吉**

分野：高齢 活動種別：見守りネットワーク

事業名：箕輪地区地域ケア連絡会**活動内容**

災害時の活動メンバー連絡網を作成し、要援護者申請者をもとに地域ケア連絡会(ケア連)で名簿作成、把握しています。

それらをもとに民生委員とケア連メンバーで災害時要援護者となる方の見守り訪問しています。

その他、日吉本町ケアプラザによる出張ミニ講座を開いたり、町会で箕輪町災害時避難マップ&非常時持ち出しチェックリストを全戸配布したり、防災訓練で歩行がスムーズにいかない人(杖使用)・高齢者を別な教室を用意して集合するプログラムも用意したりしています。



対象 箕輪町にお住まいの方で
65歳以上の高齢者他要援護者

定例日時 定例会議 年3回

会場 箕輪町公会堂(箕輪町 3-8-9)

参加費 なし

財源 地区社協助成金

保険 なし

広報周知 チラシ(回覧・掲示)
敬老祝い品と一緒に申請書を配布

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

民生委員の「災害時一人も見逃さない運動」をきっかけに、平成20年に回覧で災害時要援護者の自発的申請を呼びかけました。ケア連絡会で災害時の活動メンバー連絡網を作成し、要援護者申請者をもとに名簿作成、把握することとなりました。

関わっている人たち

箕輪町内会の役員、地域子育て支援拠点どろっぷ、日吉地区子育て応援ボランティアネットワークポコ・ア・ポコ、親和会（老人会）、消防団、日吉本町地域ケアプラザ（順不同・敬称略）

活動をすすめる工夫

要援護者宅をケア連メンバーと民生委員と一緒に訪問し、レスキューシート等持参、顔を覚えてもらうようにしています。また敬老会・親和会（老人会）等で、家の中で安全な場所を確認しておくこと、家族との連絡方法を決めておくことなど話をしています。

防災訓練では日吉南小学校を拠点に、避難してきた人の受け入れや避難生活などスムーズに拠点運営できるよう実践的に取り組み、東日本大震災の際に力を発揮できました。日吉の他の4地区の取り組みも参考にしています。

声を聞く工夫 ひだまりサロン・防災訓練の反省会など箕輪町での地域の集まりでも意見を聞くようにしています。

地区社協との関係 資金助成や予算計画・決算報告の行き来があります。

これからにむけて 担い手を広げるよう、隣人の協力を呼びかけていきます。

地区名 **日吉**

分野：高齡 活動種別：サロン

事業名：**なごみの会** ～認知症・転倒骨折予防教室～

活動内容

閉じこもりや認知症を防ぎ、いきいきと豊かに過ごすための、公文式・体操・茶話会を組み合わせた集まりで、1回20人程参加されています。

- ①公文式…国語・算数・音読（簡単な問題を反復練習）
- ②体 操…座ってできる筋力体操（ゴムボール等使います）
- ③茶話会…お茶を飲みながら歓談 ⇒①②③それぞれ30分ほど

音読の教科書は会員の方が書いてきたものをコピーし、一人ひとりが順に大きな声で読んでもらっています。365歩のマーチでの体操、好評です。

対 象 日吉本町地区在住の高齡者
（ケアプラザを通じて日吉の他の地区の方も受入）

定例日時 毎月第4土曜日
 10時～11時30分（日吉本町東町会館）
 14時～15時30分（日吉本町地域ケアプラザ）

会 場 【午前回】日吉本町東町会館（日吉1-8-4）
 【午後回】日吉本町地域ケアプラザ
 （日吉本町4-10-A）

参加費 100円

財 源 港北みんなの助成金
 参加費（ボランティアも負担）

保 険 ボランティア行事用保険に加入

広報周知 案内状を民生委員から手渡し
 ひとり暮らし高齡者の集いに周知

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

認知症予防教室は宮前公会堂でも開催されていましたが、同じ日吉地区からでも1時間弱かかる方もいました。“通うのに電車に乗っていくのも、バスに乗っていくのもイヤ。歩いて行けるところに欲しいわ。”という声をふまえ、民生委員児童委員協議会で話し合いました。結果、坂の上(東町会館)と坂下(さかした)(日吉本町ケアプラザ)の2か所に分けてやりましょうと決まりました。

下田地域ケアプラザの同様の活動を手伝いながら運営方法を勉強していたので、流れや手順に大きな戸惑いなく始められました。開始2年間は民生委員の持ち出しの運営でしたが、活動8年目に入り、参加者も2か所併せて40人となり、和やかな会となっています。

関わっている人たち

日吉本町地区民生委員、下田地域ケアプラザ、日吉本町地域ケアプラザ(順不同)担い手は毎回6~7人で担当しています。

活動をすすめる工夫

案内の呼びかけは担当民生委員がしています。

1ページずつの朗読で、参加者も声が出るようになりました。

また年1回は地域ケアプラザ職員を講師に招き、前頭葉がいかに人間らしさを司るところかといった脳の話から、簡単な問題を継続して反復練習する大切さを確認し理解していただいています。

声を聞く工夫 茶話会で直接お聞き取りしています。

地区社協との関係 住民にむけてのPR(パネルを使って)

平成24年度は、地区社協主催の光と活力福祉実践活動発表会にて活動を発表しました。その結果民生委員へ新たに参加の申込みがありました。

これからに向けて 平成25年度は民生委員の一斉改選で、退任された方にも担い手に残っていただける見通しです。将来的に民生委員の活動でなく、地域の活動になっていくことを期待しています。

地区名 **大曽根**

分野：高齡 活動種別：配食

事業名：**よつ葉会**

活動内容

食事作りが困難な高齡で病弱な方たちに毎週金曜日(月4回)、旬の食材を使用した手作りのお弁当(夕食)を配達しています。

その他、安否確認のための声かけを行っています。

対 象 高齡で食事作りの困難な一人暮らしの方、又は夫婦世帯

定例日時 毎週金曜日(月4回) 8月は除く

会 場 大曽根会館(大曽根 2-18-24)

参加費 1食400円

財 源 賛助会費・みんなの助成金

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 チラシ(回覧・掲示)・イベントカレンダー
・福祉まつりパネル展示

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会(TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

30年前から給食会（やすらぎ会）が活動しておりましたが10年以上経ってきて会場に来られなくなった方にお弁当としてお届けしたのが始まりです。平成5年より配食を始め、平成7年よりボランティアを募り「よつ葉会」を立ち上げました。

関わっている人たち

ボランティア・民生委員（調理/配達）

友人同士で声かけをし合って加わってもらいました。

現在の登録者数は35人（配達協力者25人）、1回あたり17人程度で活動しています。

活動をすすめる工夫

月4回の活動のためボランティアは4班に分かれ各班長を中心に献立・買い物・調理・配達と和やかに活動をしています。

声を聞く工夫 お弁当をお届けの際、前回の献立の感想を聞いています。

地区社協との関係 地区社協活動に協力（福祉まつり等）しています。

また、賛助会費からの助成金を受けていて事業報告や収支報告の行き来があります。

これからに向けて 担い手の高齢化で若い担い手をどのように確保していくかが課題です。

地区名 **大曽根**

分野：高齡 活動種別：サロン

事業名：**木曜サロン**

活動内容

高齡の方が気軽に集える場所として、大曽根会館で月1回お茶会やレクリエーション、季節の行事に合わせた手作業などを行っています。
また、年1回バスハイクを行い、参加者の交流を深めています。
口コミ等で参加者が年々増え、活性化しています。

対 象 大曽根在住の高齡者

定例日時 基本毎月第4木曜日 10時～12時
8月1月は第5木曜日

会 場 大曽根会館（大曽根 2-18-24）

参加費 1回100円（茶菓子・材料費等）
バスハイクは別途

財 源 賛助会費・みんなの助成金・バザー他

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 チラシ（回覧・掲示）

イベントカレンダー、福祉まつりパネル展示

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

赤ちゃん訪問をしていて赤ちゃんを持つお母さんが相談したり、話し相手が少ないとの声や、高齢の方々から近所でもお茶飲み会がなくなり一人で日中を過ごしているとの声で立ち上げました。

初めは赤ちゃんとお母さんも一緒でしたが、会場も狭く高齢者のみとなりました。

知り合いの方々に声をかけ協力者を募り、会場を確保し、賛同者から寄付を集めました。

関わっている人たち

有志ボランティア（10名）

現在の登録者数は40人

友人同士声かけをしあって加わってもらいました。

活動をすすめる工夫

お茶会だけではなく毎月プログラムを考えています。

声を聞く工夫

会の終わりに次はどんなことを希望しているのか意見を聞いています。

地区社協との関係

福祉まつり等にも参加協力をしています。賛助会費からの助成金を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからおける

参加者は増えてきていますが担い手の確保、男性の参加がないので思案中です。

地区名 大曽根

分野：高齢 活動種別：サロン

事業名：折り紙教室

活動内容

介護保険等の世話にならず、地域で元気に楽しく過ごしていくことを目的とし、年11回折り紙で季節の花、動物、干支など楽しく折っています。
4月の総会、1月の新年会にはお茶菓子を用意し、楽しい一時を過ごしています。

対 象 大曽根地区在住の原則として65歳以上の方

定例日時 8月を除く毎月第3月曜日（年11回）

毎年2月に折り紙の作品展を3日間
行っています

会 場 大曽根会館 （大曽根 2-18-24）

参加費 月200円（折り紙等の教材費）

保険料 年100円

財 源 賛助会費 5万円

保 険 福祉サービス総合補償

広報周知 チラシ（回覧・掲示）

福祉まつりパネル展示

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

介護保険が始まり、生きがい運動の一環として地区社協で検討を始めました。日本に古くから伝わっている折り紙で地域の方たちの交流をはかり、元気で楽しく暮らせるように、元社協役員、元民生委員の協力も得て立ち上げました。

関わっている人たち

元社協役員／元民生委員

現在の登録者数 40 人、1 回あたりの参加者は 30 人以上で活動しています。回覧と掲示板で広報及び声かけをしています。

活動をすすめる工夫

毎回楽しく折り紙が出来るように折る教材にも色々工夫、1 時間過ぎると一寸休憩、年 1 回の作品展では同じ作品でもそれぞれ展示の仕方が異なり皆さんに驚きや楽しさを与えています。

声を聞く工夫

4 月の総会、1 月の新年会に茶菓子を用意し、皆さんの意見や要望を聞いています。また、月々の教室でも運営委員が皆さんの声を聞いており、会の準備をしている時や年 5 回以上の運営委員会で情報交換を行っています。

地区社協との関係

社協活動に協力、特に福祉まつり、ちびサロンのクリスマス会等に協力しています。

賛助会費からの助成金を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからおいて 講師、会員が高齢化していますが今まで通り楽しく折り紙をしていきます。

地区名 **大曽根**

分野：高齡 活動種別：生きがづくり

事業名：大曽根歩こう会

活動内容

健康のために歩くことを習慣づけるため、公園やハイキングコースをみんなで歩きます。

対 象 大曽根地区在住 65 才以上で
5～6 キロ歩ける方

定例日時 毎月第1火曜日

会 場 各地の公園や名所旧跡

参加費 なし（交通費は自費）

財 源 地区社協助成金

保 険 なし

広報周知 チラシ（回覧・掲示）
イベントカレンダー

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

大曾根地区社協の生きがいづくり事業として、既に活動していた「大倉山さんぽ会」のメンバーが中心となって立ちあげました。

当初は民生委員も参加していましたが「大曾根歩こう会」として自立し、計画実行するようになりました。

会員は 100 人以上を維持しており、歩くことは健康に良いということが理解されています。

関わっている人たち

現在登録者数は 100 人、活動者は 50 人程度

活動をすすめる工夫

特別な勧誘はしていませんが、口コミで入会する人が多くいます。

下見は入念にしています。

声を聞く工夫

活動中に参加者からの声を聞いています。

地区社協との関係

「大曾根歩こう会」として独立して活動しています。賛助会費からの助成を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

高齢化が進んでおり、継続が難しくなっていくので今後の活動の進め方が課題です。

分野：高齡 活動種別：会食会

事業名：お茶とお話しの会

活動内容

年々増えている高齢者が地域の中で、孤立することなく多くの人達と交流するとともに、防犯や減災のお話し、手指の運動等の健康講座を交えながら、ゲストによる民謡、フラダンス、二胡の演奏などを楽しんでいただいています。

対 象 太尾地区に在住の65歳以上の
一人暮らし高齢者の方

定例日時 毎年6月と11月の年2回

会 場 大綱中学校コミュニティハウス
(大倉山3-40-1)

参加費 無料

財 源 地区社協より助成

保 険 ボランティア行専用保険

広報周知 民生委員が参加者に案内状配布

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

約22年前、この頃から核家族化が進み、近年では一人暮らしの高齢者の増加が社会問題になっています。高齢者の孤立化を防ぎ、生き生き暮らせるようにするには、地域社会との交流が必要との主旨で民生委員児童委員協議会での話し合いにより始めました。平成25年6月で延43回開催しました。

関わっている人たち

民生委員、地区社協のメンバー、ボランティア、区役所の保健師

活動をすすめる工夫

毎年、年度初めに活動計画を話し合い、お茶会の内容がマンネリにならないよう、参加者が楽しんでいただけるように企画を考えています。また、ゲストの方には参加者が一緒に歌ったり、身体を動かせるようなメニューをお願いしています。

声を聞く工夫

お食事の後やゲストの方からの発表後に担当の民生委員が参加者にお声をかけ、感想やご希望などをお聞きしています。また、保健師による血圧測定等の健康チェックを行うと共に、体調についても伺っています。

地区社協との関係

地区社協、民生委員が主になっている事業で、事業報告や決算報告を行っています。

これからに向けて

参加者が固定しないよう、新規参加者を増やしていく工夫をしていきたいです。

分野：高齡 活動種別：サロン

事業名：太尾フレンドサロン・いこい

活動内容

はがき絵、粘土を使った花づくり、指あみマフラー、クリスマスの飾りなど、手指を使う事で、多くの方がはじめての体験でしたが、イメージーションが刺激され、個性的な素晴らしい作品をつくり、お持ち帰りいただきました。
また、アコーディオンに合わせて踊ったり、身体を動かす気功、呼吸法などの行事も行っています。

対 象 太尾地区に在住の65歳以上で昼間お一人の方
及び70歳以上の高齢世帯の方

定例日時 年5回
(原則として火曜日または金曜日)

会 場 大綱中学校コミュニティハウス
(大倉山 3-40-1)

参加費 無料

財 源 地区社協の助成金、
及び港北みんなの助成金

保 険 なし

広報周知 チラシ
(シニアクラブ配布依頼／各町会掲示板)

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

民生委員及びボランティアが中心に話し合いを行い、お一人暮らしの方以外の70歳以上のご夫婦や昼間おひとりの方々、外出する機会の少ない方々を対象にお誘いし、歌、ゲームや軽い体操など共通の話題や情報を交換しながら気軽に楽しい交流が図れる居場所として、このサロンを立ち上げました。

関わっている人たち

民生委員／有志（ボランティア）／地区社協メンバー

活動をすすめる工夫

企画会議にて十分な話し合いを行い、講師への依頼を迅速に、また、役割を分担して特定の個人に負担が集中しないように配慮しています。

声を聞く工夫

参加者と行事の内容について意見交換し、参加者の希望をできるだけ取り入れるようにしています。

地区社協との関係

助成金を受けているので、予算や決算について報告を行っています。

これからに向けて

ボランティアの発掘、募集に力をそそぎメンバーとの連携を図りたいと思います。

分野：高齡 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「いこいの会」

活動内容

地域の高齡者が気軽に集える場所ということで、軽い昼食をはさんでおしゃべり、歌、ゲームなどをします。

ケアプラザにお手伝いいただき健康についてのお話、高齡者向けの情報提供をします。

年に一度バスハイクを計画します。

対象 65歳以上の富士塚にお住まいの方

定例日時 毎月第3木曜日 10時から14時
(4月・9月を除く全10回)

会場 富士塚自治会館 (富士塚 2-3-1)

参加費 1人200円

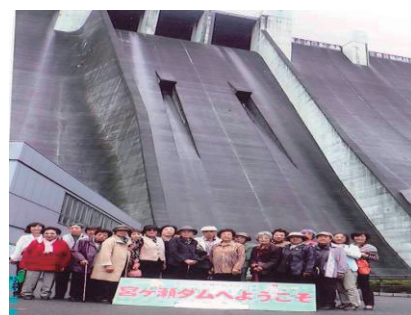
財源 みんなの助成金、
地区社協 (賛助会費・年末たすけあい)

保険 ボランティア行事用保険

広報周知 掲示版

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成元年に民生委員が、訪問先の方々の「元気だけれどバスや電車での外出が大変」という声を受けて、身近で外出出来る場所として町会、ボランティアに相談し、場所と人を確保し平成4年にいこいの日と名付けてスタートしました。

関わっている人たち

民生委員・富士塚ボランティア

活動をすすめる工夫

気軽に楽しめる場所を目指し、おしゃべり中心で特にテーマを決めません。テーマのある時は前月のいこいの日でお知らせします。

声を聞く工夫

自由な会話の中から、とりあげたい事項を拾います。
参加者全員に諮ります。

地区社協との関係

助成金を受け、予算・決算・年間計画の報告をします。

これからに向けて

ボランティアと参加者の信頼関係が出来ているように思われるので、このままを続けていきたいです。

分野：高齢者 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「お茶の間」

活動内容

11時～14時と時間が比較的長いため、昼食、おやつの手作り、歌やゲーム、手芸、体操など盛り沢山の工夫を毎回取り入れ高齢者とボランティアの健康で楽しい一日を目指しています。

対 象 篠原町在住の高齢者

定例日時 毎月1回 第2金曜日 11時～14時

会 場 篠原西部自治会館（篠原町71-8）

参加費 1人200円

財 源 自治会より助成、みんなの助成金、地区社協賛助会費

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 イベントカレンダー、チラシ

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

自治会の役員と民生委員が中心となり昼間ひとりの高齢者を中心に呼び掛け、手弁当で親睦を図りました。

関わっている人たち

有志（ボランティア）、民生委員、保健活動推進員 1回あたり 20～25名

活動をすすめる工夫

毎月“お茶の間”の後、ボランティアさん達との反省会、次回の企画マンネリ化を防ぎ新企画を提案しています。

声を聞く工夫

新しいボランティアの方々の意見を参考にしています。

地区社協との関係

自治会の理事、民生委員、ネットワークに携わっています。

これからに向けて

高齢化が年々進み、会場が山の上にあるため、歩いてくるのが大変になってくることが課題です。

分野：高齢者 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「なごみ会」

活動内容

高齢者のひとり暮らしの方、昼間ひとりになる方を対象に月1回、集会室でお茶やお菓子を食べながら語り合い、ハーモニカの伴奏で昔の懐かしい歌を唄ったり、体操指導の先生のリードで体操したり、時にはレストランで食事会などをして、楽しい会にしています。

対 象 篠原コーポラスとグリーンコーポにお住まいの65歳以上の方

定例日時 毎月第2・4火曜日 13時～15時
(8月と1月を除く全20回)

会 場 篠原コーポラス集会室(篠原町974-1)

参加費 バスハイク、食事会は自己負担あり

財 源 みんなの助成金、地区社協、自治会より助成

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 掲示板

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成15年に地区社協の要請により「みんなで楽しめることは何か」について考え、一人暮らしの方を対象としたミニデイを立ち上げ進めてきました。

関わっている人たち

民生委員、登録ボランティア6名

活動をすすめる工夫

具体的なプログラムとしては手作り工作、四季折々の歌、手話で歌う体操、散策、食事会、バスハイク等を通じて交流を深めています。

声を聞く工夫

ミニデイ終了後、ボランティア同士で意見交換をし、参加者の声を反映させています。

地区社協との関係

賛助会費からの助成金を受けていて事業報告や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

新しい参加者が増えるよう、老人会や民生委員に声かけをしています。またボランティアの方も募集しています。

分野：高齡 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス **菊名南「ひな菊」**

活動内容

毎月1回、菊名南町にお住まいの、高齡者の方と楽しく時間を過ごしてもらうミニデイサービスです。

春は菊名池公園でお花見、年3回程手作り品の作成、ケアプラザの方、区役所の保健師さんをお呼びしての勉強会。お祭り、グランドゴルフ、クリスマス、お正月の遊び等季節を感じてもらえる体験をしていただいています。

対 象 菊名南町自治会内にお住まいで、一人で来られる方

定例日時 毎月第3月曜日 13時から14時40分

会 場 菊名南町会館（菊名1-12-12）

参加費 無料



財 源 みんなの助成金、地区社協助成金、自治会助成金

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 掲示板・利用者さんには来月の内容をお知らせ

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成8年2月に自治会内婦人会という団体より、ミニデイサービスを始めるきっかけをいただき、1年間は婦人会の方とボランティアが一緒に行っていました。

平成10年度から独立をして「ひな菊」としてミニデイサービスを本格的に始めました。

関わっている人たち

民生委員、ボランティア 5名

活動をすすめる工夫

午後1時になると、防犯連絡や自治会の行事への参加呼びかけ、利用者さんの近況報告を話したり、聞いたりしています。当日は主になる人がリーダーとして前に立ち、会を楽しく進めています。手作り、手遊び、歌、ゲーム等の担当が決まっています。年2回、保健師さんをお願いして自分自身の健康について勉強しています。皆さんとても熱心に聞いていただいています。

声を聞く工夫 最後の20分程からお茶の時間。ボランティアが皆さんの間に座って一緒にお茶を飲みながら話を聞いています。

地区社協との関係

事業報告、決算報告をしています。

これからに向けて

利用者さんの年齢が高く参加者が減っています。呼びかけてはいるのですが、思うように増えていません。ボランティアが少ないですが、5名で協力して会を盛り上げています。少ないなりに一人ひとりの責任感が出てきています。

分野： 高齢 活動種別： ミニデイサービス

事業名： ミニデイサービス「みちくさの会」

活動内容

仲手原自治会「みちくさの会」は平成7年から始まり、お近くのお住まいの高齢者の方々が気楽に立ち寄って楽しいひと時を過ごしていただけるように進めております。外出してお食事やお花見(送迎あり)、簡単なビーズのアクセサリづくり、室内運動会、手品など演芸他いろいろバラエティに富んでおり、みなさんが笑顔でお帰りになれるように活動しています。

対 象 仲手原にお住まいの65歳以上の方(一人暮らし高齢者)

定例日時 毎月第2火曜日 13時30分から15時
(8月を除く全11回)

会 場 仲手原自治会館(仲手原2-22-19)

参加費 無料(材料費など不定期であり)

財 源 みんなの助成金・地区社協(賛助会費還元・年末たすけあい)
自治会助成金

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 参加者の方には次回の案内をお渡ししています

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会(TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

外出する事が億劫になり、家に閉じこもりがちな高齢者が少しでも外に出て、近所の方々と楽しく過ごす時間が持てたら良いのではないかと、また人とおしゃべりをする事により、認知症を少しでもなくす方法としても役立つのではないかと、という事で、平成7年6月より計画を立て、10月より始めました。

関わっている人たち

民生委員・登録ボランティア7名 送迎ボランティア6名

活動をすすめる工夫

どなたでも出来る気軽さとみんなで楽しめるようなことを考えています。季節に応じた催し物や、お祝い事のある月は手作りのお食事をご用意して皆さんと一緒にいただいたり、とにかく「いろいろなことをみんなで楽しく」をモットーとしています。外出してお食事の時は送迎ボランティアさんのお手伝いでスムーズに活動できます。きれいなイラスト付きのお手紙で次回の内容をお知らせしています。

声を聞く工夫

ボランティアは毎月の開催時に参加されている方々とのコミュニケーションを大切に、参加者の様子やお話から、活動の内容を検討して年間スケジュールを計画しています。

地区社協との関係

賛助会費から助成金を受けていて事業報告や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

現在30名位出席していますので、人数はこのままでよいと思いますが、女性ばかりなので、できれば男性がもっと出席して欲しいと思っています。

分野：高齡 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「西町のつどい」

活動内容

平成14年10月に発足しました。季節感を大切にしています。
折り紙、工作、ゲーム、歌、ラジオ体操、脳トレなど。
また、外で楽しめるものとしてグランドゴルフやバスハイクなどバラエティに富むように心掛けています。
併せて、①できるだけ利用者の方にお話していただく
②利用者の方と交流を深める
このことをモットーに毎月楽しく活動しています。

対象 篠原西町にお住まいの65歳以上の方

定例日時 毎月第3木曜日 13時30分～15時30分頃
(8月を除く全11回)

会場 六角橋公園集会所（神奈川区六角橋6-1-4）

参加費 無料

財源 みんなの助成金、地区社協助成金
自治会助成金

保険 ボランティア行事用保険

広報周知 掲示板、利用者の方には次回の案内をお渡ししています。

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成14年7月に立ち上げ準備会発足。中心メンバーは民生委員・老人会・自治会・ボランティアの方々9名で話し合われました。“地域で多くの人達と知り合い、ふれ合い、語り合う”そんな楽しい会を目指しました。同年10月に第一回「西町のつどい」が開始されました。

関わっている人たち

現在、自治会福祉部員8名 民生委員2名 登録ボランティア5名 計15名 主催は自治会福祉部です。

活動をすすめる工夫

年度初めに活動や各担当を話し合って決めます。
毎月終了後は15名の運営ボランティアで次回の内容をしっかりと打合せます。
15名の運営ボランティアの皆様が気持ちよく動けるようにそしてご意見を出しやすい雰囲気であるように心掛けています。
同じ町内に住んでいるご縁や意識を大切にしています。

声を聞く工夫

1～2年に一度利用者の方へアンケートをお願いしてご希望やご感想を伺っています。

地区社協との関係

賛助会費から助成金を受けています。事業報告、決算報告の行き来があります。隔月1回の福祉ネットワーク委員会に出席して各町内間で情報交換しています。研修や講座にも参加しています。

これからに向けて

発足して早10年。利用者の方々の高齢化、それに伴う減少化を痛感しています。いつまでもお元気でいていただきたいと同時に新しい参加者が増えますよう運営ボランティア一同、声かけに努めております。

分野：高齡 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「夢クラブ」

活動内容

昭和 63 年、他用でスウェーデンに行った初代ボランティア会の会長が、老人対応の素晴らしさに惹かれ、彼女の音頭で 70 歳以上の一人暮らしの方々のために「ふるるんど(かしの木)」という名前で設立されました。

観桜会や季節ごとの街散策、手先を使った折り紙やフラワーアレンジメントなどゲストの皆さんに無理なく、喜んで参加していただける内容を計画しています。

対 象 仲手原南在住の 65 歳以上の方

定例日時 毎月 第一木曜日・第三月曜日（8月を除く）
13時～15時

会 場 仲手原南プチハウス （仲手原 2-8-3）

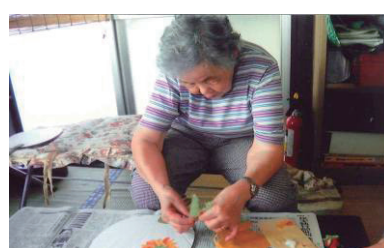
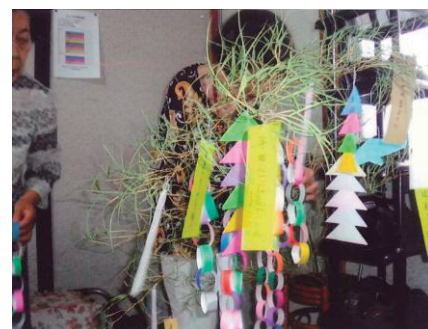
参加費 無料

財 源 みんなの助成金、地区社協助成金、
自治会助成金

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 回覧板、掲示板

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

昭和63年7月7日に創立しました。ボランティア会、初代会長が外国に行った際、「ボランティアをする人々」を見て、我が自治会にも取り入れてはという発想から始まりました。これから高齢者が増加し、友愛の精神が大切だと思い発足しました。

登録ボランティアは自治会役員や興味を持った人など自主的に集まることができました。アルミ缶を集めて、資金づくりしたこともあったそうです。

関わっている人たち

民生委員、登録ボランティア 10名程

活動をすすめる工夫

「来て良かった」「楽しかった」と言って帰宅出来るよう無理矢理ではなく、ゲストの方々、個々を大切に進めていくよう心がけています。また、信頼のおけるボランティアよりミニデイサービスへのお誘いの声かけをしてもらっています。

声を聞く工夫

茶話会の際、ゲストの方々に伺っています。隔月に一度ボランティアの定例会を開き意見交換をしています。

地区社協との関係

賛助会費からの助成を受けているため、事業報告や決算報告をしています。

これからにおいて

ゲストの方々が家庭、健康事情で施設へ入所され、一時期非常に少なくなっていました。現在は安定した人数であるものの少しでも多くの方々に周知していただく必要があるのではないかと思います。また、若いボランティアさんを増やしたいです。

地区名 新吉田あすなる

分野：高齢

活動種別：地区リハビリ・サロン

事業名：楽しいシルバー健康体操・サロン

活動内容

月1回町内会館で実施している、高齢者体操サロンです。準備体操、リズム体操運動など、楽しく無理のないプログラムを企画し、参加者の意見を反映し内容を随時改善しています。体操後は、お茶を飲みながら参加者と楽しく過ごせるよう活動しています。



対 象 新吉田あすなる地区にお住まいの高齢者

定例日時 毎月第2月曜日10時～12時(8月、1月はお休み)

会 場 第一町内会館(新吉田町1-30-6)

参加費 なし

財 源 地区社協からの助成金

保 険 なし

広報周知 チラシ・声掛け

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

楽しいシルバー健康体操・サロン		日程表		
平成25年	4/8	5/13	6/10	7/8 (8月休み)
	9/9	10/21	11/11	12/9
平成26年	(1月休み)	2/10	3/10	
時 間	10時～11時30分頃まで			
場 所	第一町内会館			
新吉田あすなる民生児童委員協議会				

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

民生委員児童委員で高齢者の皆さんとの関わりを持つ活動計画時に委員の中に横浜市高齢者体操指導員がおり、民生委員児童委員の事業として立ち上げました。

関わっている人たち

民生委員児童委員

活動をすすめる工夫

年間日程を作成。参加者に渡し、予定を立てていただいております。無理のないメニュー組み、負担をかけないように話し合っています。

声を聞く工夫

サロン時に相談ごとまた、その時々々の注意事項、報告などを実施。

地区社協との関係

地区社協の評議員でもある民生委員児童委員が行っている事業です。

これからのむけて

会場スペースが今の参加者でちょうど良いと思われませんが、今後参加者が多くなつたときには、検討し、誰もが参加でき、楽しい体操として継続したいと考えています。

地区名 新吉田あすなる

分野：高齡

活動種別：サロン

事業名：ふらっとサロン（元気づくりステーション）

活動内容

毎月第1土曜日は元気になるための体操（約1時間30分）と健康講話（30分）、別途サロン室を開いています。

第3土曜日はお茶をしながらおしゃべりし、人数がそろったところでDVDによる体操を行っています。



対 象 新吉田あすなる地区にお住まいの65歳以上の方

定例日時 毎月第1、第3土曜日 9時～11時

会 場 あすなる会館（新吉田東7-2-3）

参加費 なし

財 源 連合町内会、地区社協より助成

保 険 なし

広報周知 回覧、ポスター掲示

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会
(TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

資源循環局の移動図書館が開設された折（平成22年2月）同時に本を読みながらおしゃべりしたり、お茶をしたりすることが楽しいのでは…がきっかけでした。

関わっている人たち

連合町内会役員、地区社協役員

活動をすすめる工夫

サロンを運営する人の当番制、元気づくり体操の工夫、健康に関するお話をしていただけの人調整など、みんなで話し合いながら進めています。DVDによる体操も関心のある部分を繰り返し行うなど、参加者の意見を聞きながら進めています。

声を聞く工夫

毎回、参加する人の声を聞きながら次の機会に活かせるようにしています。

地区社協との関係

地区社協として計画、広報の支援があります。

これからのむけて

立ち上げ準備から3年余り、地域の人により多く自分たちの居場所として気軽に参加できる雰囲気作りが必要と考えています。

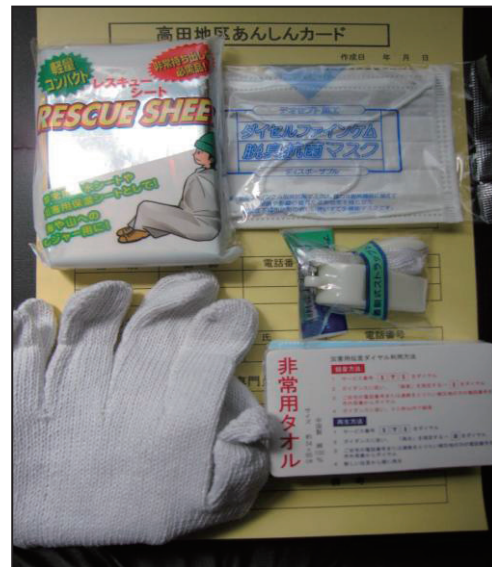
地区名 **高 田**

分野：高齡 活動種別：見守り把握

事業名：高齡者支援事業

活動内容

民生委員による75歳以上ひとり暮らしの訪問事業に伴い、高田地区社協より防災グッズを準備し、提供しています。



対 象 高田地区在住 75歳以上ひとり暮らしの方

定例日時 年1回

財 源 賛助会費

保 険 なし

広報周知 訪問先へ各戸ポスティング

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成 23 年度 3 月まで「ひとり暮らし高齢者の集い」を開催していましたが、参加人数も増え、十分な対応が出来ず終了してしまいました。それに代わる事業として平成 24 年度から民生委員による 75 歳以上のひとり暮らし高齢者の訪問事業が始まったのを機に防災グッズを提供することになりました。

関わっている人たち

民生委員、高田地区社協、地域包括支援センター

活動をすすめる工夫

把握しにくかった高齢者の情報が届き、民生委員としても訪問がしやすくなりました。グッズがあると訪問がしやすく、喜ばれることもあります。新規の方にはあんしん袋をお届けし、前年訪問した方には追加のグッズをお届けしています。あんしん袋の内容（レスキューシート・呼び笛・マスク・軍手・非常用フェイスタオル・あんしんカード）や追加する品物については委員会で意見交換をしています。

声を聞く工夫

民生委員による各戸訪問なので、その際現状の把握や世間話の中から情報を得ています。

地区社協との関係

賛助会費からの助成金を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

防災グッズはかなり出回っており、その中から順次備えていくことにしています。ただ、懐中電灯の電池や缶詰など消費期限があるものの場合、どのタイミングで交換をしていくか現在検討中です。

また地域で行っている高齢者見守り活動との情報共有も課題です。

分野：高齢 活動種別：ミニデイサービス

事業名：ミニデイサービス「みどりの会」

活動内容

月に1回篠原台町にお住まいの高齢者の方に楽しい時間を過ごしてもらうためのミニデイサービスです。年に2回のお食事会、シルクフラワー作り、民謡、体操などを実施しています。

対 象 篠原台町にお住いの高齢者

定例日時 毎月第2火曜日 13時30分～15時

会 場 篠原台町事務所 (神奈川県白幡町2-4)

参加費 無料

財 源 みんなの助成金、地区社協助成金、自治会助成金

広報周知 利用者さんにご案内配布

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

外出する事が億劫になり、家に閉じこもりがちな高齢者が少しでも外に出て、近所の方々と楽しく過ごす時間が持てたら良いのではないかと、また人とおしゃべりをする事により、認知症を少しでもなくす方法としても役立つのではないかと、という事で、平成6年4月より始めました。

関わっている人たち

民生委員・登録ボランティア11名

活動をすすめる工夫

どなたでも出来る気軽さとみんなで楽しめるようなことを考えています。外出してお食事の時は送迎ボランティアさんのお手伝いでスムーズに活動できます。きれいなイラスト付きのお手紙で次回の内容をお知らせしています。

声を聞く工夫

ボランティアは毎月の開催時に参加されている方々とのコミュニケーションを大切に、参加者の様子やお話から、活動の内容を検討して年間スケジュールを計画しています。

地区社協との関係

賛助会費から助成金を受けていて事業報告や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

現在10名位出席していますので、人数はこのままで良いと思いますが、女性ばかりなので、できれば男性がもっと出席して欲しいと思っています。

分野：高齡 活動種別：会食会

事業名： **ひとり暮らし高齢者昼食会**

活動内容

ひとり暮らしの高齢者を対象に、毎年10月に地域での交流を目的に自治会毎に4会場で開催しています。会場ごとに市販のお弁当になりますが高齢者向けのものを考え、ゲストをお呼びして参加者が楽しんでいただけるような色々な企画を実施しています。

対 象 篠原地区に在住の65歳以上のひとり暮らし高齢者の方

定例日時 毎年10月の年1回

会 場 第1会場（篠原地区会館）菊名南・富士塚・篠原東自治会の方
 第2会場（篠原西部自治会館）篠原町・篠原コーポラス、
 篠原町グリーンコーポ自治会の方
 第3会場（仲手原自治会館）仲手原・仲手原南自治会の方
 第4会場（白幡町自治会館）篠原西町・篠原台町自治会の方

参加費 無料

財 源 地区社協からの助成

広報周知 民生委員が参加者に案内状を配布



申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL547-2324）

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

篠原地区でもひとり暮らし高齢者が増え、高齢者の孤立を防ぐには地域社会との交流が大切だということで、地区社協の事業として民生委員が実施している。

関わっている人たち

民生委員、ボランティア

活動をすすめる工夫

毎年参加者に楽しんでいただけるような企画を考え、ゲストの方をお願いしています。4会場それぞれにお弁当等、工夫を凝らしたものになっています。

声を聞く工夫

その都度お弁当などの感想を聞いています。

地区社協との関係

地区社協の事業で民生委員が企画し、実施しているので事業報告や決算報告を行っています。

これからに向けて

参加者が高齢になり出席者が以前より少なくなっています。多くの方に引きこもらずに参加していただくような働きかけをしていきたい。

地区名 篠原

分野：高齡 活動種別：サロン

事業名： **しのはら人生一服亭**

活動内容

平成10年、篠原地域ケアプラザが出来たのをきっかけに篠原地区全体の住民を対象とした「しのはら人生一服亭」が出来ました。
手作り工作、コンサート、体操等、1年間のプログラムを企画し参加者に楽しいひとときを過ごしてもらえるよう活動しています。

対 象 篠原地区在住の方、65歳以上の方、1人で会場まで来れる方

定例日時 毎週水曜日 13時30分から15時15分

会 場 篠原地域ケアプラザ 多目的ホール
(篠原東 2-15-27)

参加費 1回100円

財 源 地区社協からの助成金



広報周知 掲示板・参加者に次月の案内を渡しています。

申込・問い合わせ 篠原地域ケアプラザ (TEL423-1230)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成10年篠原地域ケアプラザができ「篠原地区の高齢者サロンを開きたい。」とケアプラザと各自治会ボランティアと話し合いをもち、試行錯誤を繰り返しながら1日の流れ、1年の流れを決め、みんなで楽しめる事、また来たくなるにはどうしたらよいかを話し合って進めてきました。

関わっている人たち

登録ボランティア他25名程

活動をすすめる工夫

話をしたり、歌を歌ったり、コンサート（歌、踊り等）を聴いたりしています。プログラムは大体1年間決まっているので茶話会という日には手先を使って楽しめる内容にしています。“また来たくなる一服亭”を目標に企画し交流を深めています。

声を聞く工夫

コーヒータイムの時にボランティアの人も同席し参加者の話を聞き、それをミニデイ終了後のボランティア同士の意見交換の折に発表しています。

地区社協との関係

助成金を受けていて事業報告、決算報告をしています。

これからにむけて

一人で来れなくなり、参加者が減少しているので新しい参加者が増えるよう「次回も来たくなる一服亭」を目指していこうと思います。

地区名 **師岡**

分野：高齢・子ども 活動種別：サロン

事業名：**師岡ひまわり**

活動内容

平成11年に師岡地区の福祉活動団体が集まり立ち上げました。高齢の方と0歳から就園前の子供とお母さんのフリースペースを師岡町内会館に設け、毎週月曜の昼下りに「サロン師岡月曜会」を行っています。ゆっくり過ごして気軽に集えるサロンで、お年寄りはおランプ遊びやおしゃべりを楽しむ一方、乳幼児の母親は友達づくりや情報交換などで交流し、子供たちは広いホールを自由に遊びまわり異世代が一つ屋根の下で楽しい時間を過ごしています。口コミ等で参加者が年々増え活性化しています。

対象 高齢者・0歳～就園前の子どもと
お母さん等 *基本的には師岡地区の方

定例日時 毎週月曜日（祭日・8月はお休み）
午後1時から3時まで*出入り自由

会場 師岡町会館
（東急大倉山駅より徒歩15分）

参加費 無料

財源 連合町会と地区社協からの助成金

保険 加入を検討中

広報周知 年間活動スケジュール表は回覧。
3カ月毎に活動表を掲示板で掲示。
びーのびーのや樽町地域ケアプラザに
スケジュール表・活動表を掲示。



七夕祭



サロンの様子



福祉ふれあい祭り

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

施設に通所していた高齢の人たちが介護保険の導入により「自立」と判断され、その受け皿として「サロン師岡月曜会」を立ち上げました。

同時期に地域で子育ても支援しよう！という声があり、異世代交流の場として活動をスタートしました。立ち上げ当初は3本柱として高齢・障がい・子育てがあり、障がいのある人の送り迎えなども行っていました。

関わっている人たち

地域のボランティア（現在45名）

もとは町会の活動をしていた方が中心に活動を始めました。現在は町会に関わっていない方でボランティアを継続している方もいます。

イベントをする際には地域の男性もお手伝いを積極的にしてくれます。

活動をすすめる工夫

- ①自由に集い、遊んでいただいています。（出入りも自由です）
- ②（希望者には）手伝っていただいています。
- ③1カ月に1度の交流イベントをもうけ、こだわりをもって行っています。気持ちをこめているのを伝え、1回1回で終わりにしないようにしています。季節の行事は全町会に呼び掛け、多くの人に参加できるようにしています。
- ④沢山お話をするようにしています。⑤師岡地区は4つの町会があり、サロンの活動日が月4回のため毎週町会別に当番を決め無理のない活動を心掛けています。⑥地域の中で（男性にも）広く認知されています。

声を聞く工夫

毎月第4週目のサロン後に役員17名で定例会を行っています。

また、一緒に活動している人にはこまめに報告をし、共有しています。

サロン参加者が自由に書き込めるノートを入りに置いてあります。

地区社協との関係

代表が地区社協理事。地域で活動を認め支援しています。

これからおけるボランティアスタッフが高齢化してきているので、若い担い手を求めています。

地区名 日吉

分野：高齢・子ども 活動種別：サロン

事業名：サロン日吉「なかよし」

活動内容

平成24年7月からはじまった、地域の子供達から高齢者まで、当日ふらりと立ち寄り、気軽に寄りあえる場所です。美味しいコーヒーとお茶を飲みながら、ゆったり過ごせます。

また、月替わりでの折り紙や絵手紙、映画会などの催し物も好評です。地域で活動する各種団体の皆さんが工夫した企画も楽しめます。

対象 日吉1～4丁目、5丁目の一部の方
どなたでも
(日吉町自治会・日吉台町内会、
常盤台自治会地区にお住まいの方)

定例日時 毎月第4金曜日 13時～15時

会場 日吉町自治会館(日吉 2-27-16)

参加費 無料(一部材料費実費負担)

財源 3自治会町内会からの助成金

保険 なし

広報周知 チラシ(掲示)・ホームページで紹介

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

これまで日吉1~4丁目の辺りには、多世代みんなが集まってお茶を飲んだり会話をしたりする場所がありませんでした。「ひっとプラン港北」の一環として、日吉町地区地域ケア連絡会にて多くの話し合いを重ね、高齢者から子どもまで集まれる居場所づくりに取り組むこととしました。

関わっている人たち

日吉町地区地域ケア連絡会の活動として、日吉町・日吉台町・常盤台地区の3つの自治会町内会の各種団体の代表がメンバーとなり、代表者会議を構成しています。（自治会・町内会、民生委員、保健活動推進員、家庭防災員、日吉町老人会、日吉町婦人会、矢上婦人会 の各代表）
その他、下田地域ケアプラザ、日吉本町地域ケアプラザ^(順不同)

活動をすすめる工夫

サロンオープン時は代表者会議メンバーで企画運営し、各種団体の女性代表者が持ち回りでおもてなしを担当していましたが、平成25年度からは各種団体が持ち回りで企画運営することにしたところ、幅広い分野からの企画が多くなり多彩になりました。折り紙の得意な地元の方にリーダーになって教えていただいたりしています。

声を聞く工夫 折に触れ参加者からお聞き取りしていますが、やり方はこれから工夫していきます。

地区社協との関係 日吉町地区地域ケア連絡会として、予算計画や決算報告の行き来があります。

これらにむけて まだまだよちよち歩きのサロンですので、不安もありますが代表者会議の中で話し合いながら、肩ひじを張らない地域の居場所として頑張っていきます。

分野：高齢・障がい 活動種別：地区リハビリ

事業名：ボランティア部会

活動内容

1. 地域の高齢者を対象に、福祉講座・健康体操・介護保険相談会などを、毎月開催しています。(大豆戸地域ケアプラザとの共催)
 - ①福祉講座：介護予防、認知症予防、口腔講座、季節に応じた食中毒やインフルエンザの話し等
 - ②健康体操：はまちゃん体操、転倒予防、体力向上プログラム等
2. 地域の障害者施設、障がい者への支援
 - ①施設が必要とするボランティアの募集支援活動
 - ②障がいをもつ子どものガイドボランティアに取り組みを検討中

対 象 太尾地区住民を対象とした活動

定例日時 ①福祉講座：毎月第4水曜日（原則）
②随時

会 場 太尾防犯拠点センター（太尾みんなの居場所）、
及び 太尾地区各町会会館を巡回

参加費 無料

財 源 太尾地区社協からの助成金による

保 険 なし

広報周知 チラシ（掲示版）、ホームページ
大倉山便利マップ等

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



福祉講座



口腔講座



健康体操

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

太尾地区では年々高齢者が増加傾向にあり、高齢者の福祉をどのように進めていくか検討していましたが、防犯拠点センターが完成したことをきっかけに、大豆戸地域ケアプラザと共催で健康づくり体操、福祉相談会を始め、障がい関係に関しては、地域の施設や学校関係のニーズに合わせて取り組みました。

関わっている人たち

- ・ 太尾地区社会福祉協議会の役員
- ・ ボランティア部会のメンバー
- ・ 太尾地区民児協委員
- ・ 町会会館の責任者
- ・ シニアクラブ
- ・ 大豆戸地域ケアプラザ職員
- ・ 地域施設(作業所)関係者
- ・ 学校関係者

活動をすすめる工夫

- ・ 参加した高齢者の方々が、また参加したくなるような活動の企画。
- ・ 途中にお茶タイムをとり、気軽に相談ができるような雰囲気づくり。
- ・ ボランティア部会と大豆戸地域ケアプラザでよく話し合い、年間のスケジュールを作成し推進しています。
- ・ 多くの方が参加できるよう、1～7丁目の町内会館に出張開催しています。
- ・ 障がい者支援関係は、ガイドボランティアの募集(発掘)に注力しています。

声を聞く工夫

- ・ 行事を実施した際、都度聞き取り調査して活動・運営に反映しています。

地区社協との関係

地区社会福祉協議会の部会活動の一環として運営しています。活動報告及び会計報告などは地区社協として取りまとめ理事会・総会に提出しています。

これからに向けて

- ・ 高齢者を含め地域住民の交流を深め、元気で明るい生活が送れるよう安心で住み良いまちづくりを目指しています。

地区名 城 郷

分野：限定なし 活動種別：地域たすけあい型ボランティア

事業名：城郷ふれあいの会

活動内容

困っている時に「ちょっと助けてくれる人」がいるとどんなにか安心して心強いことでしょう。そんな時にお互いに助け合っていける仲間をこの城郷地区に作りました。生活に関わる細かいこと、なかなか出来ないこと、ヘルパーさんがいても出来ないこと等介護保険で利用できない事柄を手伝っています。

対 象 城郷地区に在住の高齢者、障がいのある方、
子育て中の方、その他（特に必要と思われる方）

定例日時 月曜日～金曜日 9時～17時

会 場 利用者宅

利用料 500円／1時間、ゴミ出しは100円／1回



財 源 地区社協8万、みんなの助成金25万、利用料ほか

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 会報紙（年4回発行）を
ケアプラザにて配布・掲示。

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備 平成18年に支えあい連絡会が地域の課題を抽出するため、3つの町内会でアンケートを実施し、城郷地区でお互いに助け合える会が必要であることがわかり、約1年半の時間をかけて、平成19年9月に「城郷ふれあいの会」ができました。はじめは、作成したボランティア募集のチラシを地域のイベントで配布したり、週3日ケアプラザに窓口を設置して相談を受け付けました。利用者は民生委員やケアプラザから紹介してもらい案内しました。

関わっている人たち 地区在住のボランティア、地域ケアプラザ、区役所

活動をすすめる工夫 ボランティアが利用者宅の活動で少しでも役に立つための料理の講習会、掃除のプロを講師に招いての勉強会、救急救命の仕方を消防士から学んだりボランティアの希望を取り入れて講習会を開いて、技術向上や顔のみえる関係づくりに努めています。

声を聞く工夫 毎月第4土曜日にボランティア定例会を開き、ボランティアが聞いた利用者の声や、活動で困っていることや悩みことを聞いています。

地区社協との関係 代表が地区社協の理事になっています。助成金を受けていて、予算書や決算報告を社協に提出しています。

これからおいて ボランティアの増加、城郷地区に於いて「城郷ふれあいの会」をもっと良く知ってもらうこと、利用者アンケートを行おうと考えています。

分野：限定なし 活動種別：地域たすけあい型ボランティア

事業名：竹の子につば

活動内容

時代とともに稀薄になりつつある地域の関係性をボランティアで補うべくして誕生した活動です。活動メニューはゴミだし・話し相手・散歩の付き添い・簡単な買い物・薬の代理受け取り・草むしり・動物の世話・簡単な裁縫・室内清掃・ヘアカットなどです。家事支援の他に、お花見や芋煮会などイベントも開催し、新羽地区防災訓練では小学生に対して車いす体験や高齢者体験の指導も行っています。

対 象 原則として新羽町内に住む高齢の方、障がいの方、その他必要と思われる方

定例日時 月・火・水・木・金・土・日

8時～17時 依頼者の要望によります。

会 場 依頼者の要望によります。

利用料 ◆ゴミだし（1回）50円

◆薬の受け取り（1時間）100円

◆話し相手（原則2名）（1時間）100円

◆散歩の付き添い（原則2名）（1時間）

100円※〔難しい介助技術が必要な場合）（1時間）200円

◆室内掃除（原則2名）（1時間）100円

◆簡単な買い物（1時間）200円 ◆草むしり（1時間）200円

◆植木及び庭の手入れ（1時間）300円 ◆ヘアカット 500円

*利用料はすべてボランティア1名の料金です。

財 源 地区社協からの助成金、利用料

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 専用チラシあり、地区社協広報誌の「ふくしの和」に掲載

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



『お花見会』

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成14年に新羽地区支えあい連絡会の中で「地域のためにどんなことができるか」を話し合った結果、かつては隣近所で助け合っていた地域の関係性が時代とともに稀薄になり、それをボランティアで補うべくして誕生しました。

高齢者世帯をはじめ障がいのある方々を対象として活動を始めました。

関わっている人たち

民生委員とボランティア24名



『ふれあい芋煮会』

活動をすすめる工夫

みなさん忙しいですが、手の空いている人に依頼するようにしています。無理のないようにすることが工夫です。

声を聞く工夫

参加者の意見の取り入れ方については、アンケートや意見を聞くつどいなどがあります。

地区社協との関係

地区社協の傘下団体として活動しています。



『新田地区センターバザー』

これからに向けて

依頼者の要望に対してメンバーで話し合いを行い、臨機応変に無理のないよう継続して実施していきたいです。

分野：限定なし 活動種別：地域助けあい型ボランティア

事業名： ボランティア活動グループ **ほっと新吉田**

活動内容

高齢の方、障がいのある方、その他、子育て(幼児・児童)支援などが必要で、日常生活のちょっとした事でお困りの方々に向けた支え合い活動です。

平成17年4月の発足以来7年余り、地域に根差した地道な活動を続けています。住民同士の‘支え合いの心’が明るく住みやすいまちづくりに不可欠です。

【23年度活動実績】

依頼件数	活動時間	活動者数	チケット収入
274件	245時間20分	498人(延べ)	112,700円

対象 新吉田連合町内会に属する地区にお住まいの方（原則）

利用方法 地区ボランティアセンター『やすらぎの家』か『ほっと新吉田事務局』に困りごとを相談

財源 新吉田地区社協から助成
港北みんなの助成金
利用者負担金

保険 ボランティア活動保険

広報周知 チラシ配布・掲示版利用
「ほっと新吉田新聞」配布
「ほっと新吉田ご利用案内」

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

新吉田地域ケアプラザを中心に、区役所、地区社協、民生児童委員、新吉田連合町内会で構成される「地域ささえあい連絡会」の会合の中で地域ボランティア活動の団体発足の気運が高まりました。既に立ち上げている他地区の活動事例なども参考にし、6カ月の準備期間をかけて平成17年4月に発足しました。

関わっている人たち

役員(代表者1名、副会長2名、コーディネーター2名、会計2名、記録2名)を含めたボランティア登録会員55名(女性38名、男性17名)

活動をすすめる工夫

- 高齢者支援の対応(アンケート調査の分析と支援を必要としている人の発見)
 - ・民生児童委員の訪問活動にコーディネーターが随行し、ニーズの把握を行います。
 - ・地域ケアプラザとの連携を密にして活動につなげています。
- 障がい児者への対応
 - ・外出時の見守り、生活支援、通園、通学の付き添い
 - ・障がい児への通学付き添いでは保護者と担い手との懇談会をやすらぎの家で定期的を開催しています。

声を聞く工夫

長期間の支援を必要とするニーズに対しては、利用者、担い手、コーディネーターの3者でミーティングをし、相互の意見を話しあっています。

地区社協との関係 活動資金助成と広報活動支援(チラシの町会回覧など)

これからに向けて ボランティア活動の担い手の不足、特に男性の人数が不足しているため、ボランティア募集のチラシを作成し活用していきます。

地区名 **日吉**

分野：限定なし 活動種別：独自の取り組み

事業名：**光と活力 福祉実践活動発表会****活動内容** 地区社協主催の年1回の事例発表です。各団体・グループにおいて

活動のプロセスを重視し、活性化を促進するための手段として計画した発表会です。

23年度の3回目の発表からパネルディスカッション形式を取り入れました。ひっとプラン日吉地区～光と活力に満ちあふれる日吉～の活動発表として、5つのまち(日吉町・宮前・箕輪・日吉本町・下田)と会場と一体感を重んじながら進めています。

今年度の発表は下記について10団体から行いました。また、会場内のパネル展示には6団体が掲示しました。このことにより人々の活動が一つの輪になり、5つのまちがネットワーク化し活動を共有していけたらと思います。

その想いは今年度ポスターにも観覧車を模して掲げています。

地区	24年度の発表
日吉町	サロン日吉「なかよし」・日吉台町内会の活動
日吉町宮前	広報活動の充実・老人会の活動
箕輪町	ホームページ更新・防犯パトロールについて
日吉本町	災害時要援護者支援の取組み・なごみの会 認知症 転倒骨折予防教室
下田町	災害時要援護者支援のマップの見直し・下田小学校との地域のかかわり

**対象** 日吉地区在住の方 その他興味のある方**定例日時** 例年2月第1土曜ないし日曜に開催**会場** 慶応大学協生館(日吉駅徒歩1分)
より多くが参加できる500席の会場にしています。**参加費** 無料で参加できます**財源** 地区社協(約25万) 港北みんなの助成金(9.8万)**保険** 運営委員はボランティア活動保険に加入**広報周知** 周知ポスターを業者印刷で掲示、チラシ回覧**申込・問い合わせ**

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成18年「福祉のまちネットワーク会議」が設立、3年間、高齢者・障がい児者・子育て支援・ボランティアなど活動とフォーラム発表に取り組んだ成果を引き継いだ発表会です。もっと活動者のすそ野を広げ、たくさんの人とネットワークをつくっていききたい、活動を共有し私も一緒に活動したいとの意欲を持ってもらいたいと4回目をむかえました。日吉5地区全体での事業継続と多角的見地での発展で、発表会につなげます。

関わっている人たち

地区社協が主体(常任理事+助成団体他)の実行委員会(26名)

自治会町内会 地域ケア部会 民生委員児童委員 ボランティア部会
保護司会 青指、スポーツ推進 子ども会、子育て団体 老人会
配食グループ しらゆり会 地域ケアプラザ 障がい者地域活動ホーム(順不同)



活動をすすめる工夫

実行委員会6回その他の委員会を数回重ねながら、のべ11回の委員会で、発表や広報、参加者呼び掛け等の役割を分担し準備します。

3回目の発表会から趣向を変えひっとプラン日吉地区計画策定に携わった吉田洋子氏を進行役にお招きしています。今年度は推進2年目のひっとプラン日吉地区～光と活力に満ちあふれる日吉～としてあらゆる活動に光を充てるため助成団体に限らず地域で活動するグループの方々に呼びかけました。また発表者は毎年変わります。活動の実務者で特に討論に積極的に参加できる方にはパネルディスカッションに臨んでもらいます。その他「記録集」を発行し、地区社協総会資料別冊にもとじ込んで参加できなかった方にも目を通してもらえるようにしています。

声を聞く工夫 アンケートをとり、次回の発表会につなげていきます。

地区社協との関係 実行委員の多くは地区社協常任理事や役員です。

これからおける 次年度は5年目を迎えると同時にひっとプラン3年目の活動であること意識しながらふり返り、日吉らしい発表会を目指します。

分野：高齡 活動種別：独自の取り組み

事業名：岩手県陸前高田市おやこの広場「きらりんきっず」との交流

活動内容

東日本大震災後、同じ「高田」の付く地名という縁から始まった交流です。津波による被害で建物を失い、避難所となっていた中学校図書室にて縮小しながら広場事業を継続されていた陸前高田市おやこの広場「きらりんきっず」さん。平成23年8月より仮設の建物にて広場事業を本格的に再開されるにあたり開所式のお手伝いをさせていただいたことから繋がりが生まれました。地区社協でも参加をしている、高田地区キャラクター「たかたん」管理委員会の一員としての活動です。

財 源

たかたんの活動費として
地区社協予算からも負担しています

広報周知

ケアプラザ広報誌、事業(高田 Fes！)
地区社協総会、ホームページなど

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

被災地支援ボランティアに参加されている、NPO 法人びーのびーの職員さんより同じ「高田」の付く地名から「きらりんきつず」に対し、何かしら協力いただけないかと高田地区民児協会長、高田地域ケアプラザへ相談がありました。子育て支援施設ということもあり、高田地区キャラクター「たかたん」と共に高田地区から訪問をし開所式を手伝うことになり、地区社協も管理委員会の一員として参加をしました。

関わっている人たち

高田地区「たかたん」管理委員会（連合町内会、地区社協、民児協、商工会、小中学校、高田地域ケアプラザ）、消防団、NPO 法人びーのびーの

活動をすすめる工夫

必要と感じられているお手伝いを限られた訪問回数の中で実現できるよう現状の把握に努めています。また、継続した繋がりを築けるよう無理はしないことを心掛けています。

声を聞く工夫

地区社協総会や研修、また地域事業などで参加者の声を地域に向けて発信していただいています。

地区社協との関係

基本は「たかたん」管理委員会の一員としての活動です。訪問をしたメンバーのほとんどは地区社協会員です。

これからおいて

つながりを継続し、微力ながらも可能な範囲でのお手伝いを続けていきます。また、現地にて伺った貴重なお話を高田地区の防災(心構えとしての)に活かしていくべく、情報の発信・共有をしていきます。

地区名 **新吉田**

分野：限定なし 活動種別：地区ボランティアセンター

事業名：地区ボランティアセンター **「やすらぎの家」**

活動内容

ボランティア先の紹介やボランティア派遣依頼を受け付ける相談調整事業や地域の福祉活動団体への貸し館事業、やすらぎの家開館時間を利用したミニサロン事業、月1回のものづくりサロン事業、地域内の小中学生を対象とした福祉教育事業などを行っています。

対 象 新吉田・新羽・あすなる地区在住の方
(おもに区内西部地区在住の方)

定例日時 *ボランティア相談調整事業
*ミニサロン事業…月・水・金 10時～15時
*貸し館事業…火・木・土・日 10時～17時
*ものづくりサロン事業…毎月第4土曜 10時～12時

会 場 地区ボランティアセンター「やすらぎの家」

財 源 地区社協から助成
(光熱水費・電話代・コーディネーター謝金、運営費)
港北区社協から警備費、火災保険費

保 険 ボランティア活動保険 (コーディネーター)

広報周知 チラシ配布 区社協ホームページ

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

港北区社会福祉協議会は、新住民の増加でボランティア相談が増加していることから、区社協までの交通の便が良くはない西部地区に区ボランティアセンターのブランチ（支所）が必要と考え、新吉田地区社協も地区社協機能強化のため事務所機能が欲しいと考えていました。区役所の吏員派出所が平成18年度末に廃止と決定したのをきっかけにそうした両者の考えが合致し、19年2月に地区ボランティアセンター「やすらぎの家」が開所されました。

関わっている人たち

地区社協関係者、民生委員、町内会

活動をすすめる工夫

地区限定の福祉教育事業を行うなど、相談を待つだけでなく積極的に知名度を上げる仕掛けを行っています。

定例会議を月1回開催し問題点の共有や相談の即時解決、コーディネーターのモチベーション向上のため、毎年研修を行っています。

掲示版を同敷地内に設置し、PR活動を充実させています。

声を聞く工夫

地域交流イベント「ふれあい動物園」でのアンケート配布、たすけあい型ボランティアグループ「ほっと新吉田」との連携の中から様々な声を拾っています。

地区社協との関係

地区社協の事務所機能を兼ねています。

これからに向けて

コーディネーターの募集、一層のスキルアップ、PRの充実を行っていきたいです。

分野：限定なし 活動種別：独自の取り組み

事業名： 地区社協活動拠点（福祉相談）の運営

活動内容

毎週金曜日10時～12時の間に綱島地区センター2階、娯楽室の一部スペースを利用し、地区社協役員がつめ、問い合わせの対応や、福祉情報を提供する地区社協活動拠点を運営しています。また、福祉関連各種施設（区役所、ケアプラザ、区社協等）へのつなぎ役として、福祉相談も受け付けています。

対 象 綱島地区及び近隣住民（限定なし）

定例日時 毎週金曜日 10時～12時

会 場 綱島地区センター（綱島西 1-14-26）
2階娯楽室 和室

財 源 連合町内会からの助成
地区社協からの助成

広報周知 綱島地区社協広報紙

問い合わせ 港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



看板も設置しています

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

綱島地区社協の事務作業の分担の話し合いから端を発し、地区社協役員が地区センターで部屋を借り、定期的につめることに。問い合わせなどについてもその時間に対応できるように、との発想から「福祉相談」と銘打って実施することとなりました。

綱島地区では常時地区センターを活用し活動をしており、地区の誰もが来所しやすい場所ということで、会場は地区センターに決まりました。会場の定期利用の相談に行ったところ、地区センターより2階娛樂室の隣にある和室が平日の午前中であれば比較的空いており利用可能とご提案いただき、会場が決定しました。ロッカーについてもご協力いただき、事務所用の物品を置かせていただくようにもう1台ロッカーを貸していただいています。

毎週開所するため役員でシフトを決め、関連施設の情報を集約し、整理方法を検討しました。また、チラシ作製や携帯電話の契約等、相談を受ける体制の整備についても役割分担を行いました。

関わっている人たち 地区社協役員

活動をすすめる工夫

あくまで「専門機関へのつなぎ役」として、関わっています。また、月に1回の当番の際に地区センターへ行けない場合には早めに相談して交代してもらうなど、無理のない範囲で実施しています。

地区社協の事務処理を行うために改めて日程を確保しなくても、福祉相談開所日に合わせ集合することで、1人に負担がかからずに作業も実施可能です。

声を聞く工夫

引き継ぎノートに、受けた相談と対応、事務作業の引き継ぎ等記載します。

これからのむけて

福祉相談の周知、相談員のスキルアップを行っていきたいです。

地区名 **大曾根**

分野：限定なし 活動種別：サロン

きらくかい
事業名：**棋楽会****活動内容**

毎週3回、大曾根会館または樽町地域ケアプラザにて囲碁・将棋を通じて親睦を図っています。
男性が参加しやすい場所として喜ばれており、年に2回懇親会も開いています。

対 象 大曾根地区または周辺地区に在住の方
性別年齢は問いません

定例日時 ①木曜日 13時～17時 ②月曜日 9時～18時
③水曜日 13時～17時

会 場 ①大曾根会館 (大曾根 2-18-24)
②③樽町地域ケアプラザ (樽町 1-22-46)

参加費 入会金500円 年会費3000円

財 源 地区社協助成金 6万円

保 険 なし

広報周知 チラシ(回覧・掲示)・イベントカレンダー・福祉まつりパネル展示

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

大曽根会館改築時、あけぼの会の有志9名で棋楽会を結成しました。連合会に申請公認団体の指定を受け、平成14年には樽町ケアプラザ開設時利用の申し入れを行い、優先団体の指定を受けました。平成17年に「囲碁・将棋サロン」を開始しました。

関わっている人たち

現在登録者数は31人、友人同士声かけをし合って加わってもらいました。

活動をすすめる工夫

親睦を深めるために、皆さんの声を聞いています。

声を聞く工夫

年に2回開催する懇親会や年1回の総会にて参加者からご意見等をいただいています。

地区社協との関係

地区社協活動に協力（福祉まつり等）しています。賛助会費からの助成金を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

来るもの拒まず、去る者追わず

地区名 **大曽根**

分野：限定なし 活動種別：会食会

事業名：**大曽根男の料理教室**

活動内容

男性が高齢者になったときに、福祉の助けを借りなくても食生活の面で自立できるように料理の勉強をしています。ほぼ月に1回料理教室を開いています。料理作りの基礎から、毎日のお惣菜作り、おもてなし料理まで一人で作れるようになることを目指しています。その他料理発表会なども行っています。

対象 大曽根地区または周辺地区在住の男性

定例日時 ほぼ月に1回（不定期）

会場 綱島地区センター（綱島西 1-14-26）

参加費 1回約1000円（教材費）

財源 賛助会費 港北みんなの助成金
会員会費

保険 なし

広報周知 チラシ（回覧・掲示・イベント時の口コミ）

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



蒸し鶏とたまごソース



野菜の黒酢酢豚



料理発表会

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

大曾根地区は他の地区よりも高齢者が多く、男性の食事は妻が作るか、外食や、食に関する福祉の援助に頼ってきました。男性でも、自分が食べる食事くらいは自分で料理が出来るように、食に関して自立をした方が良く、との声が上がリ、地域に料理の指導をして下さる方もおり、平成16年に「男の料理教室」が発足しました。男の料理教室は、地区社協の福祉団体に認定され、活動はその後ずっと続いています。料理を作ってみると、作る楽しさが分かり、料理好きの男性仲間が増えています。

関わっている人たち

料理作りの指導者/地区社協 現在、料理教室会員16人で活動しています。口コミやチラシで会員を募集しました。大曾根男の料理教室が、綱島地区センターで活動していることを知り、入会した人もいました。

活動をすすめる工夫

一般的に男性は料理を作る機会が少ないようです。それでも一人で料理を作ることが身に付くような指導方法をとっています。会が、料理好き仲間の同好会にもなれるように、気を配っています。

声を聞く工夫 毎年1回 総会を開き、会員の声を聞き、出来るだけ会員の希望に沿った方法で会の運営をしています。

地区社協との関係

地区社協に所属する福祉団体になっています。活動に関しては、地区社協の後援を頂いています。会は地区社協から助成金を受けており、事業報告や収支報告をしています。

これからに向けて 食生活に関して、自立出来る男性をもっと増やしていきたいです。また地区社協や地域の人に、男の料理教室の活動内容を知ってもらおう活動をしたいと思っています。

分野：限定なし 活動種別：みんなの居場所

事業名：太尾地区みんなの居場所運営事業

活動内容

地域住民の社会福祉・交流の拠点としていつでも気軽に出入りできる場所を目指し運営しています。具体的事例としては

1. 太尾地区社協の事務所機能を持たせています
2. 10時から18時まで、自由に入館できます
平成24年度の年間入館者数 約14,000人
3. 健康講座、健康づくり体操、介護等に関する相談会、各種研修会、パソコン教室等を実施(チラシで案内)
4. 太尾支えあい祭り、子育て支援拠点どろっぴの「どろっぴデー」、ウォーキングなどの開催拠点(都度チラシで案内)

対 象 太尾地区住民を対象とした運営

定例日時 毎日10時から18時まで開館
(但し、年末年始、ゴールデンウィーク、お盆を除く)

会 場 太尾防犯拠点センター (太尾みんなの居場所) 内
(大倉山4-5-4)※南郵便局前

参加費 無料

財 源 地区社協、みんなの助成金
太尾地区連合町会助成金など

保 険 活動時、ボランティア保険

広報周知 チラシ(掲示版)、ホームページ
大倉山便利マップ等

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



拠点外観



はまちゃん体操



趣味の会

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

太尾地区では年々高齢者が増加傾向にあり、またマンション建設などで新しい住民や子育て世代の住民が増えている地域です。高齢者を対象にした日常生活支援サービスの実施や新旧住民・異世代住民の交流の場が必要との共通の認識で連合町会及び地区社協の関係者が中心になって設立に至りました。

関わっている人たち

- ・ 太尾地区連合町会役員
- ・ 太尾地区社会福祉協議会役員
- ・ 太尾地区民生委員児童委員協議委員
- ・ 町会の有志(会館の当番者)
- ・ 地域のボランティア
- ・ 地域の各種施設及び団体の方々

活動をすすめる工夫

- ・ 毎日開館するのに必要な人材の確保(ボランティア)
各町会からの当番者が毎月1～15日、専任当番者が毎月16日～月末
- ・ 運営経費の捻出(連合各町会からの費用の拠出、連合町会・社協の助成)
- ・ 防犯連絡協議会と地区社協の協働、及び役割り分担により運営
- ・ 拠点利用のルールづくりと、子ども入館利用時の生活指導などについて
- ・ 支えあい祭りなど地域全体活動の際、地域一体となった支援体制の確保

声を聞く工夫

- ・ 行事を実施した際、都度聞き取り調査して活動・運営に反映しています。

地区社協との関係

・ 連合町会及び地区社協の会長(同一)のもとで運営しています。活動報告及び会計報告などは分担比を定め、別々に取りまとめ理事会・総会に提出しています。

これからのむけて

- ・ 防犯力、福祉力を更に向上させると共に、東北大震災など各地で発生している大災害に備え、災害発生時に当拠点がボランティアセンター的な施設として対応が可能か否か検討を進めます。

分野：限定なし 活動種別：地域交流イベント

事業名：太尾地区支えあい祭り

活動内容

子どもから高齢者まで、地域の住民が世代や新旧を超えて集える、太尾地区全域を対象にした福祉まつりです。主な内容としては、

1. 親子の木工教室、伝承遊び（折り紙、輪投げなど）
2. 健康相談(保健師)、健康チェック(血圧、体脂肪など)
3. 地域の新鮮野菜・花類の直売、「餅つき」・「手打ち蕎麦」の実演と販売、焼きそば、トン汁、やきとり、やきいも等の販売
4. 施設(作業所)の自主製品販売、商店街による蜂蜜販売など
5. 消費生活推進員による廃油石鹸、エコたわし等の販売
6. 子育て支援拠点どろっぷによる子育て支援
7. 資源循環局による、資源の分別ゲームなど

対 象 太尾地区住民を対象とした運営

定例日時 毎年3月の第2(又は第3)土曜日

会 場 太尾防犯拠点センター (太尾みんなの居場所) 内
(大倉山 4-5-4) ※南郵便局前

参加費 無料

財 源 地区社協、 みんなの助成金
その他 参加団体の協力による

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 広報(全戸配布)、回覧(町会)、
チラシ(掲示板)、ホームページ等

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



祭りの集い



親子の木工教室



もちつき

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

太尾地区では年々高齢者が増加傾向にあり、またマンション建設などで新しい住民や子育て世代の住民が増えている地域である。世代や新旧を超えて一同に会し、住民同士が互いに顔の見える関係をつくるためのきっかけの場として、この祭りを開催しました。

関わっている人たち

- ・ 太尾地区連合町会及び単一町会の役員 ・ 太尾地区社協役員
- ・ 太尾地区民児協委員 ・ 町会傘下の団体、有志の方々 ・ 青少年指導員 ・ スポーツ推進委員 ・ 地域の各種施設及び商店街の方々 ・ 支えあい連絡会の方々

活動をすすめる工夫

- ・ 開催する際に必要な出し物、機材、人材の確保(ボランティア)各町会から出し物の提供、所有する機材の貸与などの協力を得ています。(地域の全町会に何らかの形で参画・協力していただくことに留意)
- ・ 高齢者、子ども、障がい者施設などの地域のみんなが参加できるように関係部門に働きかけました。
- ・ 地域で不得意とする分野は関係機関に協力を要請しました。

声を聞く工夫

- ・ 行事を実施した際、都度聞き取り調査して活動・運営に反映しています。

地区社協との関係

- ・ 連合町会及び地区社協の会長(同一)のもとで運営している。活動報告及び会計報告などは分担比を定め、別々に取りまとめ理事会・総会に提出

これからに向けて

- ・ 支えあい祭りは年を追うごとに参加団体・参加人数が増えていますが、高齢者の元気づくりや子ども達の健全育成をはじめ、地域交流を更に深めていきたい、これらのことは地域の防犯・防災にも役立つものと考えます。

分野：限定なし 活動種別：施設との交流／地域交流イベント

事業名： 地元を知ろう！太尾健康ウォーキング

活動内容

ウォーキングと合わせて地域住民の交流を図ります。

対 象 太尾地区に在住の幼児からシニアまで
地域住民

定例日時 年1回

会 場 太尾防犯拠点センター（太尾みんなの居場所）
にて集合＆解散
（大倉山 4-5-4） ※南郵便局前

参加費 無料

財 源 地区社協より助成
港北みんなの助成金

保 険 ボランティア行事用保険

広報周知 広報（全戸配布）、回覧（町会）
チラシ（掲示板）、ホームページ等

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域住民の健康づくりと新旧住民や世代を超えての顔の見える関係づくりが必要とされていました。

関わっている人たち

地区社協構成員と地域のボランティアの方々。

※1回あたりの参加者数：約150名

活動をすすめる工夫

地元の史跡・公園・防災拠点・公的施設等、地域に密着した場所をウォーキングのコースに盛り込み、自分の町の新しい発見やコミュニケーションの場を拡大し、健康づくりを行っています。

声を聞く工夫

参加者への声かけや聞き取り。

地区社協との関係

代表が地区社協の役員になっています。また、地区社協からの助成金とみんなの助成金を受けており、予算計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

今後もマンネリにならないよう、また地域の皆様に喜んで参加していただけるよう、内容を検討していきたいです。

地区名 新吉田あすなろ

分野：限定なし

活動種別：地域交流・異世代交流

事業名：ふれあい運動会

活動内容

あすなろ地区全体での異世代交流の機会として盆踊りと共に大いに盛り上がっています。予定日が雨天の場合でも体育館で行うことができるように実施種目も工夫されるようになりました。新田中学校をあげて吹奏楽部の参加等協力があり、地域密着型となっています。



対 象 新吉田あすなろ地区にお住まいの全住民

定例日時 毎年1回（10月体育の日前後の日曜日）

会 場 新田中学校（新吉田東5-25-1）

参加費 なし

財 源 各自治会町内会の分担金、地区社協より助成

保 険 なし

広報周知 回覧、ポスター掲示

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域住民同士が明るい町づくりをめざし、世代を越えて活発に交流できる場を設けようということがきっかけです。

関わっている人たち

連合町内会役員、地区社協役員、各町内会役員、各委嘱委員会のメンバー
新田中学生有志

活動をすすめる工夫

小さい子供から高齢者まで全ての層が参加できる種目を行い、また、雨天時は体育館で行える種目を決めています。実施種目がマンネリ化しないよう準備段階でよく検討し、常に幅広い層の参加を意識しています。

声を聞く工夫

実施後は毎年反省会を開き、各役員、委嘱委員の声を聞き次につなげています。

地区社協との関係

地区社協より資金助成されています。

これからのむけて

次の世代に引き継ぐために、任務を理解してくれる若い人が育ってくれることが大切だと考えています。

地区名 新吉田あすなろ

分野：限定なし

活動種別：地域交流・異世代交流

事業名：**総合防災訓練** (新田中学校地域防災拠点運営委員会)

活動内容

いざ発災時を想定し、各町会はいっとき避難場所に集まり本部に連絡後、新田中学校地域防災拠点に移動します。毎月1回防災会議を開催し、色々意見を出し合い年1回の訓練を実のあるものにすべく努力しています。また、新田中学生もAED、水道立ち上げ、炊飯訓練などに参加し、平成23年からは要援護者も積極的に参加しています。なお平成25年度は約600名参加しました。



- 対象** 新吉田あすなろ地区にお住まいの全住民
- 定例日時** 防災会議毎月1回（防災訓練は、毎年5月最終日曜日）
- 会場** 新田中学校（新吉田東5-25-1）
- 参加費** なし
- 財源** 連合町内会より助成
- 保険** なし
- 広報周知** 回覧・ポスター掲示
- 申込・問い合わせ**

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

阪神淡路大震災を契機として身近に起こる災難をどのように地域で守っていくのか…

当初は基本となる事項を定め実施してきましたが、近年は徐々にいざ発災という場面を想定して取り組んでいます。

関わっている人たち

連合町内会役員、地区社協役員、各委嘱委員会のメンバーを中心として防災体制を構築しています。

活動をすすめる工夫

毎年、何か工夫できるものが無いかを検討し、順次取り入れています。ここ数年避難所体験の照明、簡易トイレ、授乳室、更衣室の設置、ペット避難スペース、転倒防止家具類の見本作成など、従来の訓練にとどめることなく実行しています。また多数の中学生も参加しています。

声を聞く工夫

毎月の防災会議、隔月の倉庫点検時に意見交換し、前向きに検討しています。

地区社協との関係

町内会の役員として地区社協のメンバーも参加しています。

これからにむけて

毎月1回行われる防災会議上で活発な討議を行い、真に震災時を想定した実のある訓練を実施していきたい。

地区名 新吉田あすなろ

分野：限定なし

活動種別：地域交流・異世代交流

事業名：納涼福祉盆踊り大会

活動内容

あすなろ地区全体での異世代交流の機会として運動会と共に盛大に行っています。盆踊りだけでなく、子ども中心のお祭り広場では、すいか割り、ベーゴマ、けん玉、ビンゴゲーム、中学生の和太鼓などが行われています。本部、各町会発行のお買物券（100円券）を配布し、各町内会、各委嘱委員会による出店で使用できるようにしています。



対 象 新吉田あすなろ地区にお住まいの全住民

定例日時 毎年1回（原則8月第1土曜日、日曜日）

会 場 新田中学校（新吉田東5-25-1）

参加費 なし

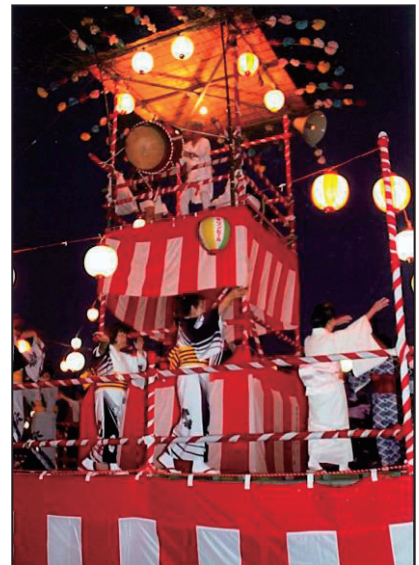
財 源 各自治会町内会の分担金
地区社協より助成

保 険 なし

広報周知 回覧、ポスター掲示

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

地域住民同士が明るい町づくりをめざし、世代を越えて活発に交流できる場を設けようということがきっかけです。

関わっている人たち

連合町内会役員、地区社協役員、各町内会役員、各委嘱校委員会のメンバー

活動をすすめる工夫

子どもから高齢者まで各世代が楽しめるよう工夫してきました、開催2日間とも、前半はお祭り広場として子供を対象とした各種遊びを取り入れ、後半はやさしい踊りを中心に多くの老若男女が参加できるように心がけています。

声を聞く工夫

お祭り広場、踊りの種目など、住民の声を聞きながら次につながるよう努力しています。

地区社協との関係

地区社協より資金助成されています。

これからのむけて

次の世代に引き継ぐために、任務を理解してくれる若い人が育ってくれることが大切だと考えています。

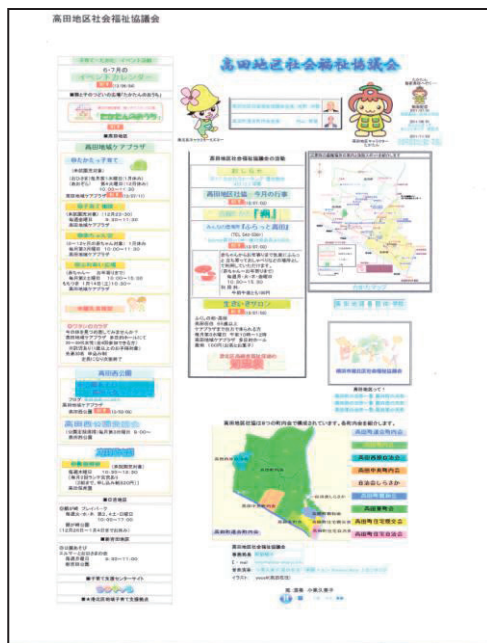
地区名 **高 田**

分野：限定なし 活動種別：情報・啓発

事業名：**広報たかた翔・ホームページ**

活動内容

年2回広報誌「広報たかた翔」を発行しています。
また、随時ホームページに地区の活動情報を掲載しています。



対 象 高田地区在住 町内会加入者

財 源 賛助会費

保 険 なし

広報周知 町内会加入者全戸配布、
町内会未加入の方のために郵便局や銀行等にも設置

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

社協の取り組みや事業をより多くの方々に知っていただくために平成18年にホームページを立ち上げました。当時は今ほどネット検索する方も多くなかったため、平成20年より広報誌による周知活動を並行して始めました。

関わっている人たち

高田地区社協 広報委員会

活動をすすめる工夫

単に社協の活動を知らせるだけでなく、連合町内会・民生委員児童委員・ケアプラザなどと連携し、高田住人がほしい情報はどんなものなのか、いろいろな所にアンテナを張っています。

町内会の中で広報などお手伝いをしていただけの方も募集中です。

声を聞く工夫

社協・連合町内会・ケアプラザ・各委員会など一同に会し、意見交換を行う機会を設けています。

地区社協との関係

賛助会費からの助成金を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

ホームページにおける子育て支援の部や高齢者向けはかなり充実しています。しかし、町内会や各種委員会のコーナーは、更新がなされないままの部分もあり、その部分をこの先どのように充実させていくかが課題となっています。

地区名 **高 田**

分野：限定なし 活動種別：みんなの居場所

事業名：**ふらっと高田**

活動内容

赤ちゃんからお年寄りまで、どなたでもふらっと立ち寄ってくつろいで頂ける場所です。異世代交流で地域の皆さんの活発な交流を願っています。イベントとしては健康マージャン、囲碁・将棋、生け花、絵手紙、水引細工、食事会、折り紙教室など開いています。

対 象

赤ちゃんからお年寄りまで誰でも

開所日時

毎週月曜、火曜、木曜、金曜 10時30分～15時30分

会 場 ふらっと高田

(高田東 4-12-27) ※高田郵便局前

参加費 利用料 (午前 100 円・午後 100 円)

財 源 みんなの助成金、利用料、
バザー等収益

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 ふらっと高田たより (隔月発行)

回覧・チラシ配布

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会 (TEL 547-2324)



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

港北区地域福祉活動計画「Do it！」により開設しました。大家さんとの取り決めにより居場所を「ふらっと高田」と命名し、運営するスタッフ（ボランティア）を決定しました。そのうえで、借りた部屋を居場所に適した部屋にリフォームし、備品を準備しました。また、一隅を高田地区社協の事務所として必要な机やロッカー、パソコン、コピー機、電話などをそろえました。

関わっている人たち

有志（ボランティア）/高田地区社協/高田地域ケアプラザ/民生委員

活動をすすめる工夫

居場所の開設をお知らせするために地図の配布やイベントの企画、地域のイベントに出店しています。「ふらっと高田」が赤ちゃんからお年寄りまで何方でも気軽に立ち寄っていただける場所であることを知っていただくように工夫しています。

声を聞く工夫

来訪した人の相談に乗ったり、要望に応えられるように毎月スタッフ会議を開いて反省点を出し合い、各曜日担当同士で情報を交換しています。

地区社協との関係

地区社協より資金助成されています。

これからに向けて

イベント時は参加者で賑わっていますが、ふらっと立ち寄って下さる方がもっと増えて欲しいと思っています。

地区名 **高 田**

分野：限定なし 活動種別：地域交流イベント

事業名：**ウォーキング（歴史散歩）**

活動内容

健康増進と歴史探訪と地域交流をかねて実施しています。
ウォーキングのコースや訪問先は講師、ケアプラザと相談して調査の上、決定しています。

対 象 参加申し込みのあった方

定例日時 年1回

会 場 各名主邸など

参加費 300円

財 源 みんなの助成金

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 チラシ回覧・ポスター掲示

申込・問い合わせ

港北区社会福祉協議会（TEL 547-2324）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

ウォーキング好きの仲間です時折近辺の探訪をしていましたが、平成20年度から健康と地域交流をかねて定期的にウォーキングを企画しました。講師をお願いして資料を作り、ウォーキング中の健康に対応できるようにケアプラザにも協力をお願いしました。

関わっている人たち

高田地区社協/高田地域ケアプラザ/港北シティーガイド協会/民生委員

活動をすすめる工夫

地区社協の行事として年間の事業に組み込んでいます。コースなど事前に調査して見学先を決めています。また、講師の方に資料の準備をお願いし、説明をしていただいています。決定したら回覧やポスターでお知らせしています。

声を聞く工夫

毎回アンケートを実施して次回の参考にしています。

地区社協との関係

平成22年度から地区社協のウォーキング部会の形で実施して助成金を受けています。

これからに向けて

平成25年度から保健活動推進委員会が関わる「らくらくウォーキング」という名称のウォーキング活動が始まりましたので、交流出来るようにと思っています。

分野：限定なし 活動種別：地域たすけあい型ボランティア

事業名： **しのはら相談室**

活動内容

しのはら相談室は篠原地区社協の事業で、篠原地区にお住まいの高齢者その他、何らかの援助を必要としている方に向けて、地域のボランティアが出来る事でささえあい、協力し合うことにより、安心できる温かいまちづくりを目的として活動しています。

対 象 篠原地区にお住まいの高齢者の方、障がいのある方、
その他お困りの方でボランティアを必要と思われる方。

定例日時 月曜日～金曜日 10時から16時
土曜日 13時から15時（日曜・祭日は休み）

会 場 依頼者の要望によります。

利用料

- ◆ゴミだし（1週間2回）100円
- ◆買い物（1時間）200円 ◆薬の受け取り（1時間）200円
- ◆家屋内小修理（1時間）200円◆留守番（1時間）200円
- ◆話し相手（1時間）200円◆散歩の付き添い（1時間）300円
- ◆病院の付き添い（1時間）300円
- ◆掃除・洗濯（1時間）300円◆草むしり（1時間）500円

財 源 地区社協からの助成金

保 険 ボランティア活動保険

広報周知 専用リーフレットあり・掲示

申込・問い合わせ 専用電話 434-8733
（留守電より携帯につながります。）



ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

平成11年篠原ケアプラザが出来たときに、地域の支え合いがケアプラザを拠点に出来ないかと、区役所の協力・助成金によりケアプラザ内に電話を引き、電話相談を行う事になりました。

関わっている人たち

地区在住のボランティア・民生児童委員
自治会により推薦された専属のコーディネーター

活動をすすめる工夫

依頼者のお困りの内容を詳しくお聞きし、ボランティアが無理しないで行えるようコーディネートする。常に、ボランティアが気持ちよく活動できるよう考え、ご相談に答えられたらと思っています。

声を聞く工夫

年2回コーディネーターの全体会を行い、ボランティアの活動報告を検討し、相談者の声や要望を聞き検討する会を行っています。コーディネーターのスキルアップの為、研修会も行っています。

地区社協との関係

助成金を受け、予算書や決算書を社協に提出しています。長期のご利用や経済的に困難な方には、ボランティアに支払われる料金は地区社協の事業のため、相談室が支払う事もあります。

これからにむけて

ボランティアの募集。

「しのはら相談室」を地域の皆様に知っていただく。

地区名 **篠原**

分野：限定なし 活動種別：情報・啓発

事業名： **しのはら・ホームページ「わがまち篠原」**

活動内容

ホームページに地区の活動情報を掲載しています。
年1～2回広報誌「広報しのはら」を発行しています。

対象 篠原地区在住 町内会加入者

定例日時 毎月第2・第3土曜日ホームページ更新作業

会場 篠原地域ケアプラザ

財源 篠原地区社協からの助成金

The screenshot shows the homepage of 'わがまち篠原' (Our Town Shinozaki). It features a navigation menu with categories like '港北区役所' (Port North Ward Office), '地区案内' (Area Guide), '地区のお知らせ' (Area Notices), '篠原地区センター' (Shinozaki Area Center), '文化祭2014' (Cultural Festival 2014), and '電話番号' (Phone Numbers). The main content area includes a calendar of events such as '赤ちゃん会' (Aka-chan Kai), '子育てサロン' (Child-rearing Salon), and 'わんぱく同盟' (Wanpaku Domei). There are also photos of community activities and a sidebar with a list of local organizations like '篠原地区連合町会' (Shinozaki Area Union Town Association) and '民生委員・児童委員' (People's Welfare and Children's Welfare Committees).

広報周知 ホームページは「わがまち篠原」を検索
「広報しのはら」は町内会加入者全戸配布

申込・問い合わせ 港北区社会福祉協議会 (TEL547-2324)

ここが特に良い！ポイント

A 組織の特色を活かした連携	B 人材の特色を活かした連携	C 内部連携	D 困難案件への取り組み
E 立ち上げプロセス	F 日々の工夫	G 自己研鑽	H ニーズ把握

はじめたきっかけと準備

広報誌は従来より発行していましたが、平成17年度に篠原地区社協とケアプラザ共同で冊子「しのはらマップ」を作成しました。しかしながら冊子では情報の更新が遅い、身近な地域情報が掲載しづらい等難点がありました。そのため自治会未加入の方や新たに転居してきた方にも地域の情報を的確、タイムリーに伝えることを目的とするとともに、各種活動をより活性化させるため、ホームページを開設しました。

関わっている人たち

「わがまち篠原」ホームページ分科会

活動をすすめる工夫

単に社協の活動を知らせるだけでなく、連合町内会・民生委員児童委員・ケアプラザなどと連携し、篠原地区住民がほしい情報はどんなものなのか、いろいろなところにアンテナを張っています。

声を聞く工夫

写真、動画、音声、リンク等住人がアクセスしたいと思うような形に進めており、また文化祭等でのデモンストレーションも適宜実施しています。

地区社協との関係

地区社協からの助成金を受けていて事業計画や決算報告の行き来があります。

これからに向けて

課題はホームページ内のコラムや写真・動画を充実するため取材するレポーターの増員と各自治会の広報窓口（ホームページ担当）を複数人化することです。